枝 幸 町

公共施設等総合管理計画

平成２９年３月

（令和４年３月改訂）

－　目　次　－　　ページ

はじめに
　１．背景と目的　1
　２．本計画の位置づけ　2
　３．計画期間　2

Ⅰ　枝幸町の概要
　１．枝幸町の概要　3
　２．人口動向（人口ビジョンより）　6
　３．財政状況　7

Ⅱ　枝幸町の公共施設等の現状
　１．公共施設等の状況　9
　２．公共施設等の更新等に係る中長期的な経費の見込み　14

Ⅲ　公共施設等の計画的な管理に関する基本方針
　１．公共施設等の課題　25
　２．公共施設マネジメントの基本的考え方　27
　３．公共施設等の総量に関する基本方針　31
　４．公共施設等の維持管理方針　35
　５．過去に行った対策の実績　38
　６．フォローアップの実施方針　38
　７．PDCA サイクルの確立　39

Ⅳ　施設分類ごとの基本方針
　１．公共施設（建物）　40
　２．インフラ系施設　56

本文中、各表の金額は表示単位未満を四捨五入しており、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。

はじめに

1. 背景と目的

わが国では、高度経済成長期からバブル期にかけて、行政需要や住民ニーズの高まりにより、多くの公共施設等を整備してきました。その結果、当町においても同様に多くの施設を保有し、町民の利便性が向上した一方、公共施設等を取り巻く環境の変化等への対応が求められています。

これらの施設の多くは建設から 20～30 年以上が経過し、経年劣化による老朽化を順次迎えることから、改修や改築費用が町財政にとって大きな負担になることが予測されます。

また、今後においても人口減少や少子高齢化の進行が予想され、扶助費などの社会保障費が増加する一方で、町税などの歳入の伸びがあまり期待できないことから、限られた財源の下で公共施設等をどのように管理運営、維持していくのか、その対策が大きな課題となっています。

こうした状況の中、各施設の維持管理や運営については、各所管課によって分担され行われていることから、全庁的な公共施設等の現状や運営状況などを横断的に分析、課題の整理等を行い、公共施設等のマネジメントに取り組んでいく必要があります。

本計画は、当町の保有する公共施設等について、その配置や利用状況、老朽化の状態などの現状及び課題を整理し、適正な施設配置や長寿命化を含めた維持管理など、将来を見据えた公共施設等のあり方について検討し、よりよいまちづくりを進めていくことを目的に策定いたしました。

2. 本計画の位置づけ

第２次枝幸町まちづくり計画：期間（R3～R7）
こころが結ぶ『森と海』 優しさと活気あふれる北の理想郷

↓

枝幸町公共施設等総合管理計画：期間（H29～R28）

↓展開

個別施設計画（R3年度末時点）
枝幸町公園施設長寿命化計画：期間（H27～R6）
枝幸町漁業集落排水施設長寿命化計画：期間（H29～R6）
枝幸町公営住宅等長寿命化計画：期間（H30～R9）
枝幸港湾海岸保全施設長寿命化計画：期間（H31～R50）
枝幸町橋梁長寿命化修繕計画：期間（R2～R11）
林道個別施設計画：期間（R3～R10）
枝幸町舗装個別施設計画：期間（R3～R17）
枝幸町教育施設等長寿命化計画：期間（R3～R12）
枝幸町一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設長寿命化計画（R3～R32）
枝幸町一般廃棄物リサイクル・資源化施設長寿命化計画（R3～R32）
ストックマネジメント改築計画：期間（R3～R7）
漁集下水終末処理場機能保全計画：期間（R3～R7）

↓

⇔ 連携

枝幸町人口ビジョン
第２期枝幸町まち・ひと・しごと創生総合戦略：期間（R2～R6）
枝幸町過疎地域持続的発展市町村計画：期間（R3～R7）
都市計画マスタープラン：期間（R3～R22）

⇔ 関係

枝幸町強靭化計画
枝幸町地域防災計画
第2期枝幸町子ども・子育て支援事業計画
第8期枝幸町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
枝幸町健康増進計画
枝幸町教育推進計画

など

公共施設等総合管理計画は、公共施設等全体を対象として策定し、まちづくり計画に基づき、各長寿命化計画等の個別の計画と相互に連携を図りながら、今後、策定予定である「公共施設再配置基本計画」等の実施計画により、公共施設の管理・整備を通じて、住みよいまちづくりの一端を担うものです。

3. 計画期間

本計画の期間は、平成 29（2017）～令和 28（2046）年度までの 30 年間とします。ただし、計画期間内であっても必要に応じて適宜、フォローアップや方針を見直すものとします。

Ⅰ 枝幸町の概要

1. 枝幸町の概要

(1)町の概況

①位置・地勢

当町は、日本最北端の宗谷管内の最南部に位置する、オホーツク海に面した町です。札幌市から約 300 ㎞、旭川市から約 180 ㎞の距離にあります。南北に約 54 ㎞、東西は約 43 ㎞で、総面積は 1,115.93 ㎢です。

標高 1,129m の函岳をはじめとした標高 300～1,100m 級の北見山地が海岸線を除く三方を取り囲み、山林が町面積の 81%を占めています。オホーツク海沿岸の中南部と北見幌別川や徳志別川の中流域に平野や盆地が広がり、酪農地帯を形成しています。また、河川は大小数条が東西に横断してオホーツク海に注いでいます。

■宗谷総合振興局管内図と枝幸町の位置図

②気候

気候は、オホーツク海沿岸地域では海洋性気候で比較的穏和ですが、冬期は流氷が接岸すると厳しい寒さになることがあります。内陸部は大陸性気候で寒暖の差が激しく、夏と冬の気温差は 60℃を超えることもあります。積雪量は、山間部では３～４mに達する特別豪雪地帯です。

③産業

当町の主な産業としては、水産業、農林業などがあげられます。

水産業は、毛ガニ、ホタテ、サケ・マス、タコ、コンブ、ナマコ、ウニなどが主要魚種であり、操業・経営形態は、沿岸漁業と沖合底引き網漁業に大別されます。また、豊富な水産資源を背景に、漁業とともに水産加工業も盛んに行われており、水産業は当町の重要な基幹産業として、地域経済へ与える影響が非常に大きく、産業振興や雇用の確保の一翼を担っています。

農業は酪農を中心とした農業形態であり、耕地の大部分は草地として利用されています。昭和 30 年代までは、馬鈴薯や雑穀を主体とした畑作が中心でしたが、気候特性や政策的な理由により酪農への転換が図られ、各種基盤整備により経営規模の拡大を進め、国内でも有数の良質乳生産基地となっています。

近年では、堆肥舎等の家畜排せつ物処理施設の整備が進められ、畜舎周辺や河川などの環境保全が図られています。

重点化している観光産業では、合併により「森と海」という異なった要素を地域資源として、従来の通過型観光から脱却し、地元の食材、四季折々の自然や素朴な生活文化体験などをキーワードとした、新たな滞在型・体験型観光への転換が課題です。当町北部には、日本最北の名勝指定を受けた神威岬や、かにまつり会場としても知られる千畳岩など優れた自然景観の北オホーツク道立自然公園があります。

また、日本一の水揚げを誇る毛ガニのほか、ホタテ、サケなどの北オホーツクの海の幸、牛乳や山菜などの山の幸と、地産食材にも恵まれています。施設面においても、ホテルやキャンプ場、ゴルフ場などを備えたうたのぼり健康回復村や、ホテルニュー幸林、地元特産品直売所である「海鮮工房えさし丸」、道の駅「マリーンアイランド岡島」や三笠山展望閣、三笠山スキー場など充実しており、これら産業観光の特性を生かして「オホーツク枝幸」の地域ブランド確立や広域的な観光ルートの開発、近隣町村との相互連携を図ります。

（２）町の歴史

当町の歴史は、北海道内の他の地域よりも比較的古く、貞享年間（1680 年代）には、松前藩が直領漁場を開設していました。明治 11（1878）年には、開拓史布達により「枝幸村」「歌登村」「頓別村」「礼文村」の４村が設置され、海岸地域を中心に集落の形成や行政機関の設置が進みました。

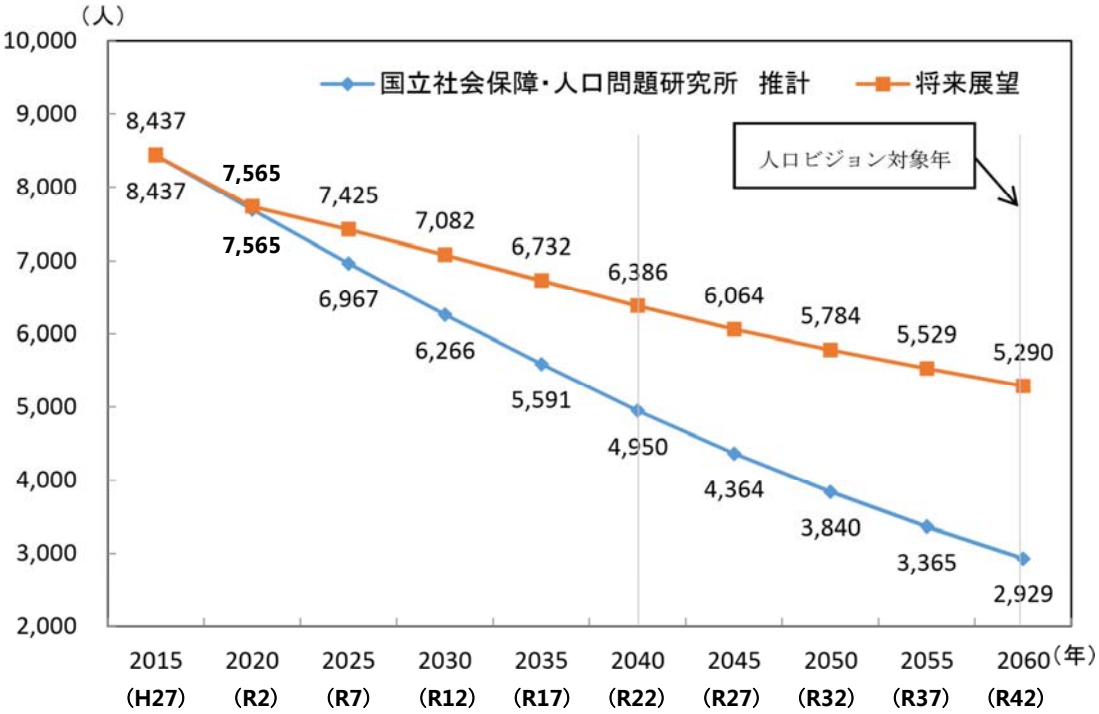
明治 42（1909）年、２級町村制施行により、４村が枝幸村に統合されましたが、大正５（1916）年に頓別村（現「浜頓別町」と「中頓別町」）が分村となりました。

昭和 14（1939）年には、枝幸村（昭和 22（1948）年町制施行）から歌登村（昭和 37（1962）年町制施行）が分村しましたが、平成 18（2006）年３月 20 日に「枝幸町」と「歌登町」が合併し、67 年の時を経て再び行政区域を同じくする、新「枝幸町」が誕生し、令和 3（2021）年には合併 15 年の大きな節目を迎えました。

2. 人口動向（人口ビジョンより）

枝幸町人口ビジョンでは、合計特殊出生率 1.51 を令和 22（2040）年までに 2.07 に上昇させ、転入促進と転出抑制を図り、転入出の均衡がとれることで、枝幸町における令和 42（2060）年の総人口は 5,290 人となり、社人研推計 2,929 人と比較し、2,361 人の増加が見込まれています。

■人口の将来展望



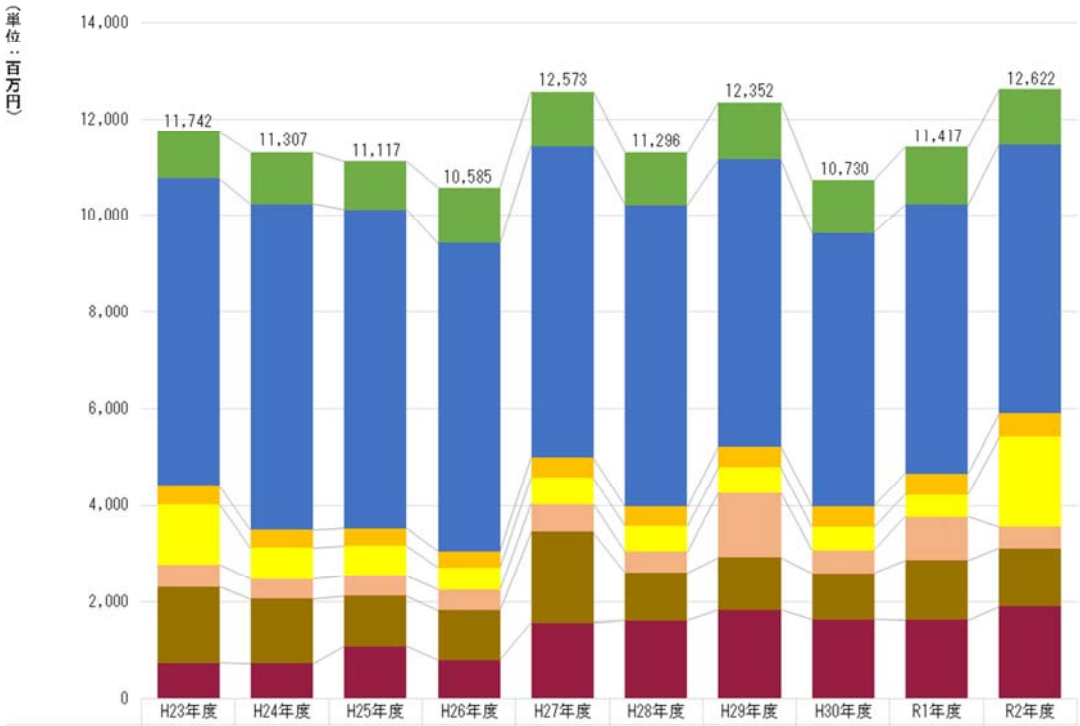
※2020 年数値は、2015 年数値と同様に国勢調査人口確定値に置き換えています。

3. 財政状況

（１）歳入決算額の推移

当町の直近 10 年間の歳入決算額の推移は下記の通りで、概ね 110～120 億円前後で推移しています。

直近の令和２年度おいては、新型コロナウイルス感染症への対応として国庫支出金が増加しています。

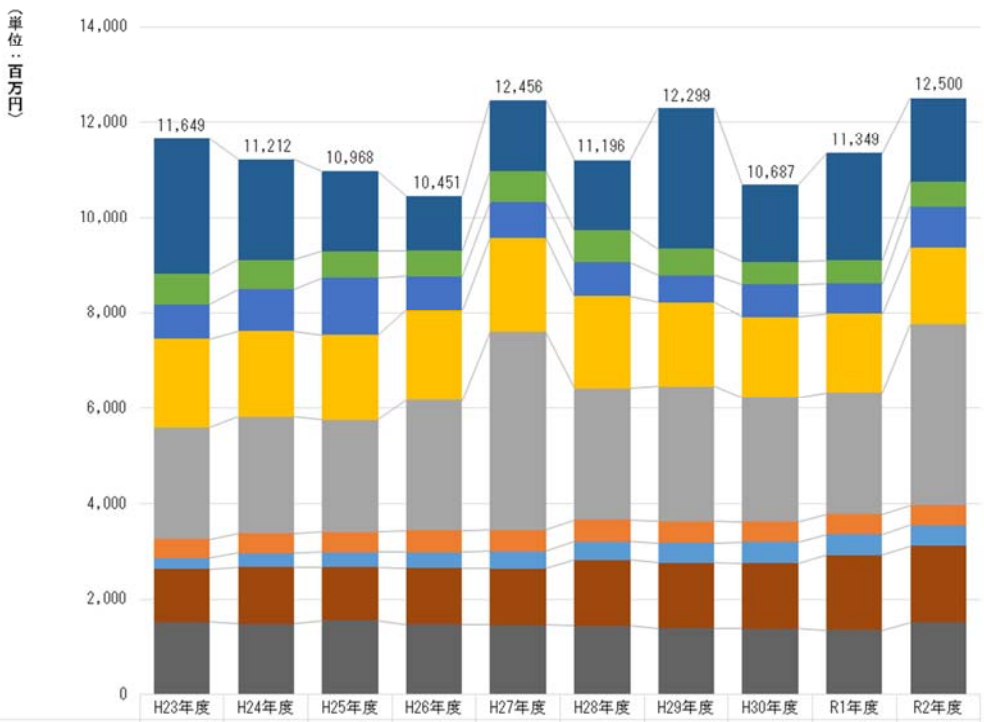


	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
町税	961	1,066	995	1,153	1,142	1,072	1,198	1,089	1,180	1,151
地方交付税	6,365	6,747	6,596	6,371	6,428	6,245	5,930	5,656	5,571	5,570
その他一般財源	392	357	357	341	426	403	431	428	443	480
国庫支出金	1,242	655	618	460	552	520	523	479	454	1,862
道支出金	463	411	419	431	574	439	1,339	476	891	433
地方債	1,567	1,330	1,036	1,008	1,874	997	1,091	960	1,244	1,217
その他	752	742	1,096	821	1,577	1,620	1,841	1,643	1,634	1,909
合計	11,742	11,307	11,117	10,585	12,573	11,296	12,352	10,730	11,417	12,622

（２）歳出決算額の推移

当町の直近 10 年間の歳出決算額の推移は下記の通りで、概ね 110～120 億円前後で推移しています。

直近の令和２年度おいては、新型コロナウイルス感染症への対応として補助費等が増加しています。



	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
投資的経費	2,832	2,102	1,679	1,153	1,480	1,475	2,964	1,622	2,247	1,745
繰出金	633	616	551	525	651	659	547	469	487	520
貸付金等（積立金+貸付金等）	727	881	1,206	725	759	710	566	689	640	861
公債費	1,863	1,791	1,778	1,879	1,973	1,933	1,762	1,681	1,643	1,619
補助費等	2,331	2,442	2,350	2,733	4,144	2,757	2,829	2,601	2,554	3,790
扶助費	398	416	413	448	438	453	450	422	417	411
維持補修費	228	287	315	334	361	379	415	449	432	435
物件費	1,116	1,192	1,120	1,185	1,189	1,383	1,373	1,372	1,579	1,604
人件費	1,521	1,486	1,558	1,469	1,461	1,448	1,393	1,382	1,351	1,515
合計	11,649	11,212	10,968	10,451	12,456	11,196	12,299	10,687	11,349	12,500

Ⅱ 枝幸町の公共施設等の現状

1. 公共施設等の状況

(1)公共施設等の分類

当町が保有する公共施設等のうち「公共施設（建物）」と「インフラ系施設」を本計画の対象とします。公共施設（建物）については、下記のとおり分類します。インフラ系施設については、その更新費用等を長寿命化等の個別施設計画で示し、道路、橋梁、公園、上下水道、港湾海岸保全施設の５類型を対象として現状等の把握や基本的な方針を検討します。

■公共施設等の分類

大分類	分　類	主　な　施　設
公共施設（建物）	01 行政施設	役場本庁舎、歌登総合支所庁舎
	02 保健福祉施設	保健福祉センター、保育所、病院施設　等
	03 社会教育施設	オホーツクミュージアムえさし、図書館、歌登文化会館　等
	04 体育施設	総合体育館、三笠山スキー場、歌登 B&G 海洋センター　等
	05 産業施設	水産物鮮度保持・加工処理施設、公共育成牧場　等
	06 観光施設	ホテルニュー幸林、道の駅「マリーンアイランド岡島」　等
	07 集会施設	中央コミュニティセンター、地区会館　等
	08 学校教育施設	小・中学校、学校給食センター
	09 住宅	公営住宅、職員住宅、教員住宅　等
	10 環境衛生施設	やすらぎ聖苑、リサイクルセンター、一般廃棄物埋立処分地施設　等
	11 その他の施設	バスターミナル、情報通信センター、消防施設、普通財産　等
インフラ系施設	1 道路	町道、農道、林道
	2 橋梁	橋梁
	3 公園	都市公園
	4 上下水道	管渠・ポンプ施設
	5 港湾海岸保全施設	護岸、斜路、堤防、護岸、胸壁

（２）公共施設（建物）の状況

①令和２年度末における施設件数、延床面積

様々な行政・住民サービス活動（事業活動）に用いられる公共施設を、そのサービスの内容に応じて、下記の通り分類します。

当町の公共施設（建物）の延床面積の合計は約 20.8 万㎡となっています。

施設件数では住宅が最も多く、次いでその他の施設、集会施設と続きます。延床面積でも住宅が最も大きく、次いで規模の大きい施設を多く含む学校教育施設、その他の施設と続き、全体の約 1/2 以上を占めています。

住民一人当たりの延床面積については、令和２（2020）年国勢調査の人口 7,565 人で算出しています。

■施設分類別の延床面積と構成比

施　設　分　類	施設数（件）	延床面積（㎡）	一人当たり延床面積（㎡）	構成比
01 行政施設	2	4,728	0.63	2.3%
02 保健福祉施設	14	17,325	2.29	8.3%
03 社会教育施設	6	6,033	0.80	2.9%
04 体育施設	9	11,738	1.55	5.7%
05 産業施設	16	13,841	1.83	6.7%
06 観光施設	11	12,419	1.64	6.0%
07 集会施設	26	10,720	1.42	5.2%
08 学校教育施設	12	30,384	4.02	14.6%
09 住宅	277	64,802	8.57	31.2%
10 環境衛生施設	18	8,425	1.11	4.1%
11 その他の施設	122	27,111	3.58	13.1%
合　計	513	207,526	27.43	100.0%

②令和２年度末における再調達価額、資産老朽化比率

施設がどの程度、老朽化しているかを示す「資産老朽化比率」を見ると、当町の建物全体では 71.0%となっています。

公共施設等の有形固定資産減価償却率は次の計算式で表しています。

有形固定資産減価償却率＝減価償却累計額／取得価額（再調達価額）

施設分類別に見ると、老朽化率が低い（新しい建物が多い）順番では、産業施設、保健福祉施設、行政施設、住宅、環境衛生施設です。

一方、全体平均よりも老朽化率が高い（古い建物が多い）順番では、学校教育施設、観光施設、体育施設、集会施設、その他の施設となります。

規模が大きく比較的新しい施設は、再調達価額も大きくなるため、資産老朽化比率への影響が大きくなります。

なお、再調達価額の計算には固定資産台帳の施設情報をベースに、各施設の延床面積に公共施設等更新費用試算ソフトを参考にした単価（P14 参照）を乗じて算出しています。減価償却累計額は、償却率×再調達価額×経過年数として算出しています。資産老朽化比率は、減価償却累計額÷再調達価額として算出しています。

■施設分類別の再調達価額及び老朽化の状況

施 設 分 類	再調達価額（千円）	減価償却累計額（千円）	期末帳簿価額（千円）	資　産老朽化比率
01 行政施設	1,891,296	1,169,554	721,742	61.8%
02 保健福祉施設	6,236,948	3,477,735	2,759,213	55.8%
03 社会教育施設	2,413,220	1,681,656	731,564	69.7%
04 体育施設	4,225,590	3,187,646	1,037,944	75.4%
05 産業施設	5,536,416	1,528,015	4,008,401	27.6%
06 観光施設	4,470,836	3,850,256	620,581	86.1%
07 集会施設	4,288,000	3,217,160	1,070,840	75.0%
08 学校教育施設	10,026,826	9,809,224	217,601	97.8%
09 住宅	18,144,617	12,549,826	5,594,791	69.2%
10 環境衛生施設	3,033,004	2,100,929	932,074	69.3%
11 その他の施設	9,759,828	7,126,709	2,633,119	73.0%
合　計	70,026,581	49,698,710	20,327,871	71.0%

■資産老朽化比率の推移

施 設 分 類	H30 年度 資産老朽化比率	R 元年度 資産老朽化比率	R2 年度 資産老朽化比率
01 行政施設	57.8%	59.8%	61.8%
02 保健福祉施設	51.5%	53.7%	55.8%
03 社会教育施設	65.6%	67.7%	69.7%
04 体育施設	70.7%	73.1%	75.4%
05 産業施設	20.5%	24.0%	27.6%
06 観光施設	81.9%	84.0%	86.1%
07 集会施設	71.0%	73.0%	75.0%
08 学校教育施設	97.6%	97.8%	97.8%
09 住宅	65.1%	67.1%	69.2%
10 環境衛生施設	63.3%	66.3%	69.3%
11 その他の施設	70.0%	71.6%	73.0%
全施設平均	67.2%	69.1%	71.0%

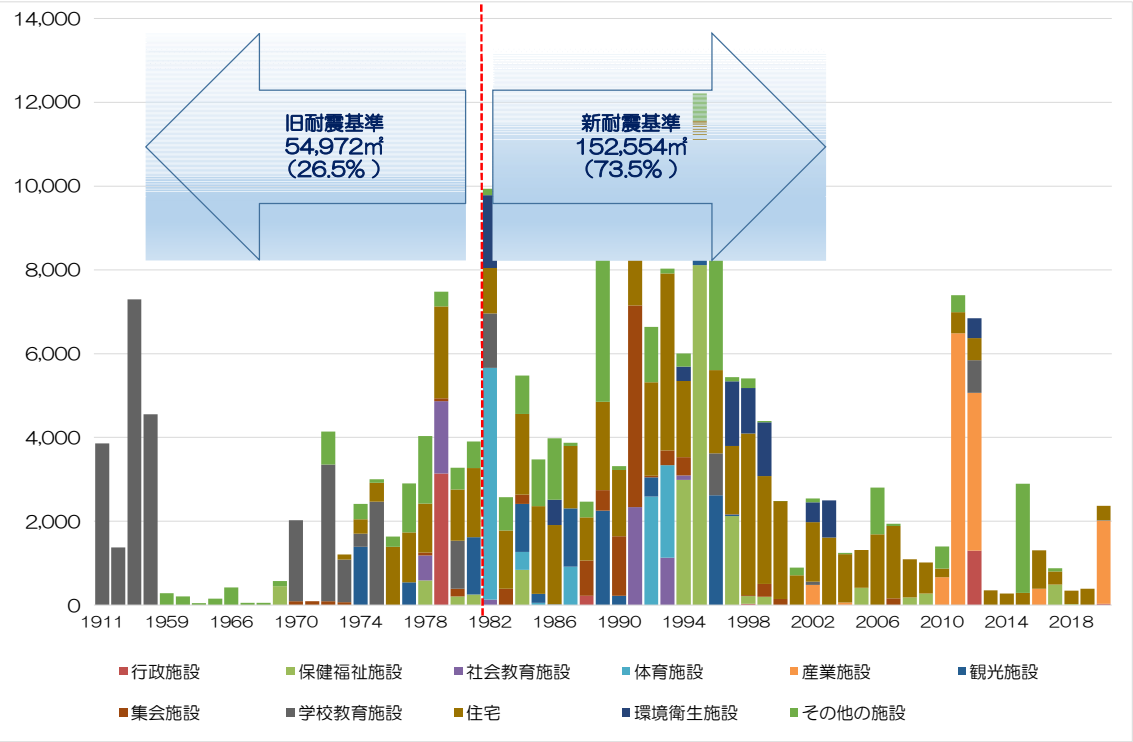
（３）耐震化の状況

現行の耐震基準（新耐震基準）は、昭和 56（1981）年に改正され、導入されたものです。新耐震基準の考え方は、中規模の地震（震度５強程度）に対しては、ほとんど損傷を生じず、極めて稀にしか発生しない大規模の地震（震度６強から震度７程度）に対しては、人命に危害を及ぼすような倒壊等の被害が生じないことを目標としたものになっています。

上記をひとつの基準とし、当町における取得年度（建築年度）別の延床面積を見ると下図の通りになります。

当町においては、旧耐震基準（昭和 56 年以前）に建築されたものが、26.5%を占めています。約３割の建物が旧耐震構造による建築物となっており、耐震化や長寿命化など、計画的に今後の対応を考える必要があります。

■取得年度別・分類別延床面積　（単位：㎡）



2. 公共施設等の更新等に係る中長期的な経費の見込み

（1）公共施設の更新費用の見通し（公共施設全般）

教育施設等長寿命化計画、公営住宅等長寿命化計画、一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設長寿命化計画及び枝幸町一般廃棄物リサイクル・資源化施設長寿命化計画の対象施設以外の公共施設（建物）について、耐用年数経過時に単純に更新した場合と施設の方向性に基づいた将来の資産更新必要額を試算した場合を比較します。シミュレーション期間は、本計画の期間と合わせて、2046年度までとします。

施設の方向性に基づいた更新等を行なった場合、約 271 億円削減することができます。

■単価表

	大規模改修	更新
01 行政施設	250,000 円/㎡	400,000 円/㎡
02 保健福祉施設	200,000 円/㎡	360,000 円/㎡
03 社会教育施設	250,000 円/㎡	400,000 円/㎡
04 体育施設	200,000 円/㎡	360,000 円/㎡
05 産業施設	250,000 円/㎡	400,000 円/㎡
06 観光施設	200,000 円/㎡	360,000 円/㎡
07 集会施設	250,000 円/㎡	400,000 円/㎡
08 学校教育施設	170,000 円/㎡	330,000 円/㎡
09 住宅	170,000 円/㎡	280,000 円/㎡
10 環境衛生施設	200,000 円/㎡	360,000 円/㎡
11 その他の施設	200,000 円/㎡	360,000 円/㎡

※総務省の公共施設等更新費用試算ソフトを参考に単価算出

※長寿命化・現状維持・多機能化、機能移転、各種見直しは大規模改修単価を採用して計算

※ランニングコストは各課ヒアリングを基に算出

※施設の方向性に基づいた将来の資産更新必要額について、既に施設方針に基づいた費用が予定されている施設についてはその金額を反映

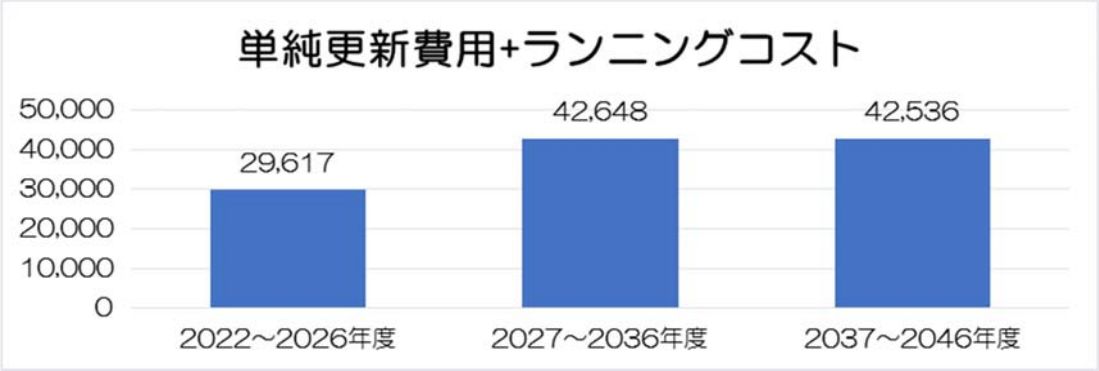
※施設の方向性に基づいた将来の資産更新必要額について、除却、地域移管、転用、民間譲渡、集約化は０円で計算

ただし、除却費用が既に予定されている歌登小学校教員住宅 812 及び歌登小学校教員住宅 816 についてはその金額を採用

単純更新費用については、既存の公共施設を耐用年数経過後に建替えた場合にかかる費用で、更新単価に延床面積を乗じて試算しています。試算結果は以下のとおりです。

■単純更新費用+ランニングコスト

（単位：百万円）



（単位：千円）

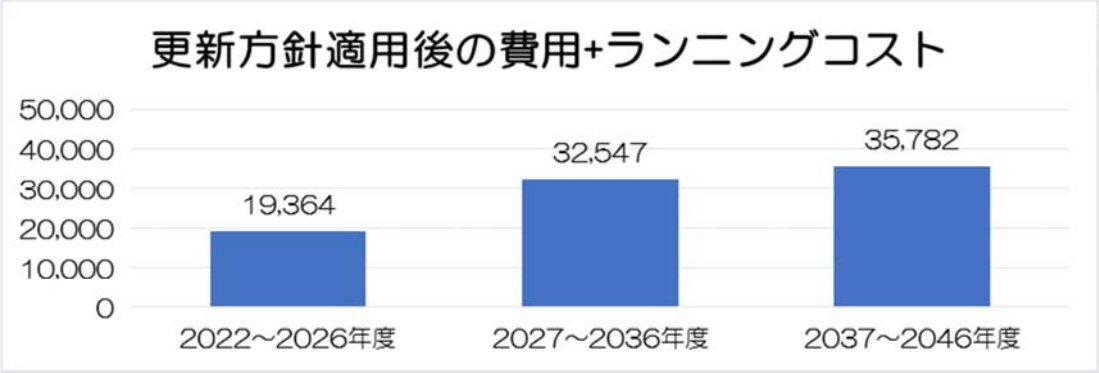
	2022～2026 年度	2027～2036 年度	2037～2046 年度	合計
01 行政施設	181,046	1,732,959	362,091	2,276,096
02 保健福祉施設	11,357,912	23,142,070	25,613,587	60,113,569
03 社会教育施設	163,736	136,272	588,128	888,135
04 体育施設	110,560	1,469	1,469	113,499
05 産業施設	744,103	3,243,227	4,921,719	8,909,049
06 観光施設	4,158,266	5,726,538	4,144,734	14,029,539
07 集会施設	1,906,016	509,000	537,236	2,952,253
08 学校教育施設	455,233	51,120	51,120	557,473
09 住宅	2,771,733	766,559	276,493	3,814,785
10 環境衛生施設	1,104,116	1,317,528	829,440	3,251,084
11 その他の施設	6,663,883	6,021,721	5,210,012	17,895,616
合　計	29,616,605	42,648,463	42,536,029	114,801,097

単純更新費用に対し、各施設の方向性を適用して試算した結果（方針適用後の費用）は次頁のとおりとなります。

更新方針適用後の費用については、各課ヒアリングのうえ、各施設の方向性を基に単価表の単価に延床面積を乗じて試算しています。試算結果は以下のとおりです。

■更新方針適用後の費用+ランニングコスト

（単位：百万円）



（単位：千円）

	2022～2026 年度	2027～2036 年度	2037～2046 年度	合計	増減額
01 行政施設	181,046	362,091	362,091	905,228	△1,370,868
02 保健福祉施設	9,222,430	17,875,724	21,160,543	48,258,696	△11,854,872
03 社会教育施設	95,636	136,272	418,682	650,589	△237,546
04 体育施設	61,749	1,469	1,469	64,688	△48,811
05 産業施設	744,103	2,585,094	3,817,707	7,146,904	△1,762,145
06 観光施設	1,940,212	4,946,267	4,045,639	10,932,118	△3,097,420
07 集会施設	1,149,717	377,888	395,536	1,923,141	△1,029,112
08 学校教育施設	246,907	51,120	51,120	349,147	△208,326
09 住宅	1,604,535	468,672	204,758	2,277,966	△1,536,819
10 環境衛生施設	688,308	903,981	610,621	2,202,910	△1,048,174
11 その他の施設	3,429,470	4,837,966	4,713,718	12,981,153	△4,914,463
合　計	19,364,113	32,546,544	35,781,883	87,692,540	△27,108,556

（２）公共施設の更新費用の見通し（教育施設等）

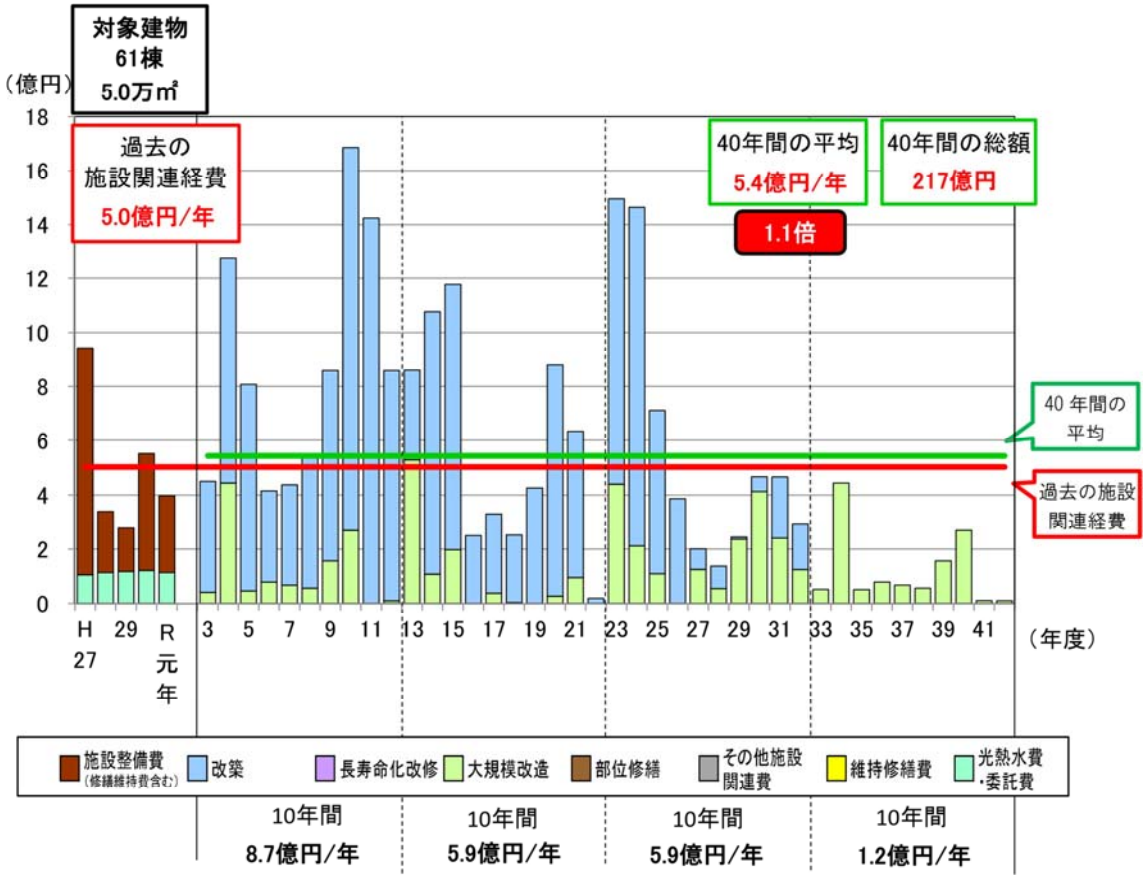
枝幸町教育施設等長寿命化計画において、令和 23（2041）年度までの教育施設等の維持・更新コストを公表しています。計画では、従来型の維持・更新コストと長寿命化型の維持・更新コストを比較して試算しています。

今後、従来型の改築中心の建替え事業を行うと 40 年間で約 217 億円、40 年間の平均費用は約 5.4 億円/年となります。

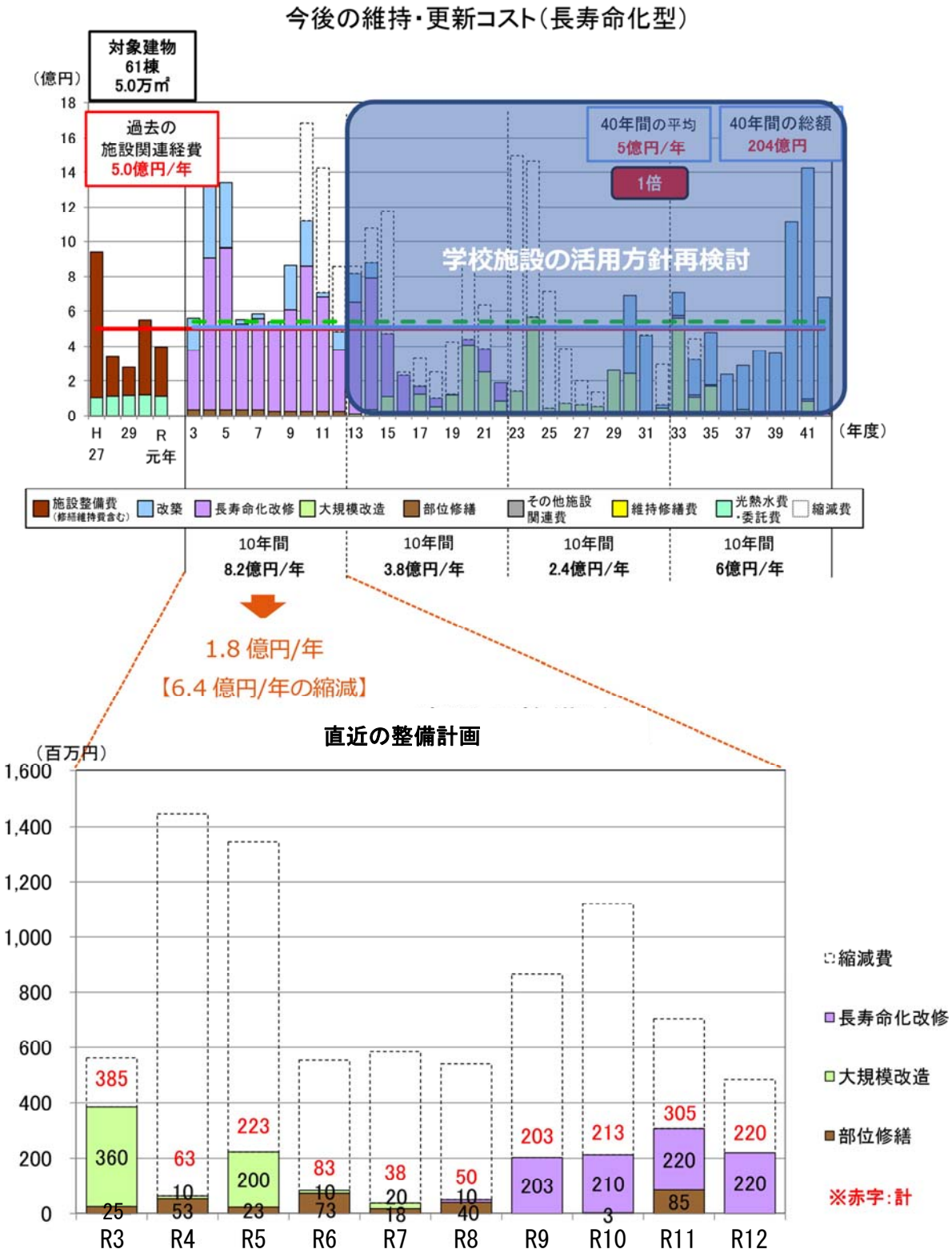
一方、長寿命化型の改修を行い、施設の長寿命化を図っていくと、40 年間で約 204 億円、40 年間の平均費用は約 5 億円/年となります。さらに、長寿命化型をベースに、事業実施時期及びコストの見直しを行い、計画期間内の事業を想定すると、年平均で約 6.4 億円の大幅なコストの縮減となります。

さらなる維持・更新コストの縮減化に向けては、概ね 10 年毎に施設の活用方針等について、年少人口動向や建物の劣化状況等を踏まえた再検討を行う必要があるとしています。

■今後の維持・更新コスト（従来型）



■今後の維持・更新コスト（長寿命化型）



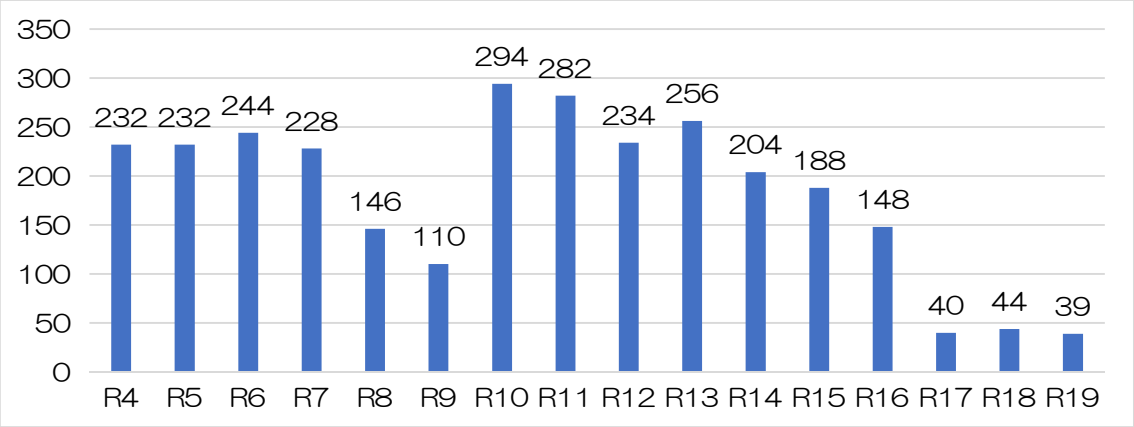
（３）公共施設の更新費用の見通し（公営住宅等）

枝幸町公営住宅等長寿命化計画において、令和 19（2037）年度までの公営住宅等の長寿命化のための事業実施計画を公表しています。この計画に基づいた将来の概算費用は以下のとおりとなります。

令和４（2022）年度から令和 19（2037）年度までの概算費用総額は、約 29 億円となります。なお、令和９（2027）年度までは計画期間、令和 10（2028）年度以降は構想期間となります。

■公営住宅等の事業費概算

（単位：百万円）



※枝幸町公営住宅等の事業プログラムを基に作成

（４）公共施設の更新費用の見通し（一般廃棄物埋立処分地施設　浸出水処理施設）

一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設長寿命化計画において、枝幸一般廃棄物埋立処分地施設　浸出水処理施設と歌登一般廃棄物埋立処分地施設　浸出水処理施設について、令和３（2020）年度から令和 32（2050）年度までの概算事業費のシミュレーションを行っています。

枝幸地区最終処分場の埋立て終了予定年度は令和７（2025）年度となっていますが、廃止基準を満たさなかった場合には、378,758 千円の延命化工事費が必要となります。一方、令和 17（2035）年度に最終処分場の廃止基準を満たした場合は、192,011 千円節減することが可能で、令和 10 年度に廃止基準を満たした場合は 263,159 千円節減することが可能となります。

歌登地区の最終処分場について、延命化更新の場合は、令和３（2020）年度から令和 32（2050）年度までに 1,578,372 千円の費用が見込まれ、新設更新の場合は、1,451,251 千円の費用が見込まれています。

（５）公共施設の更新費用の見通し（リサイクルセンター）

一般廃棄物リサイクル・資源化施設長寿命化計画において、枝幸リサイクルセンターと歌登リサイクルセンターについて、令和３（2020）年度から令和 32（2050）年度までの概算事業費のシミュレーションを行っています。

枝幸リサイクルセンターの延命化のための概算費用は、令和３（2020）年度から令和 32（2050）年度で 186,692 千円が見込まれています。一方、新設更新する場合は、同期間で 569,272 千円が見込まれ、延命化が優位であると判断されます。

歌登リサイクルセンターの延命化のための概算費用は、令和３（2020）年度から令和 32（2050）年度で 72,628 千円が見込まれています。

（６）町道の整備費用の見通し

枝幸町舗装個別施設計画では、令和 17（2035）年度までの舗装実施計画を公表しています。この計画に基づく概算整備費用は約７億円となります。

■管理延長と舗装延長

道路区分	管理延長(km)	舗装延長(km)		舗装率(%)
		As 舗装	Co 舗装	
１級市町村道	143.2	95.4	1.0	67.3
２級市町村道	123.1	61.8	0.4	50.5
その他市町村道	496.2	124.5	0.9	25.3
計	762.5	281.7	2.3	37.2

※As 舗装には簡易舗装を含む

■舗装の状態、対策内容、実施時期

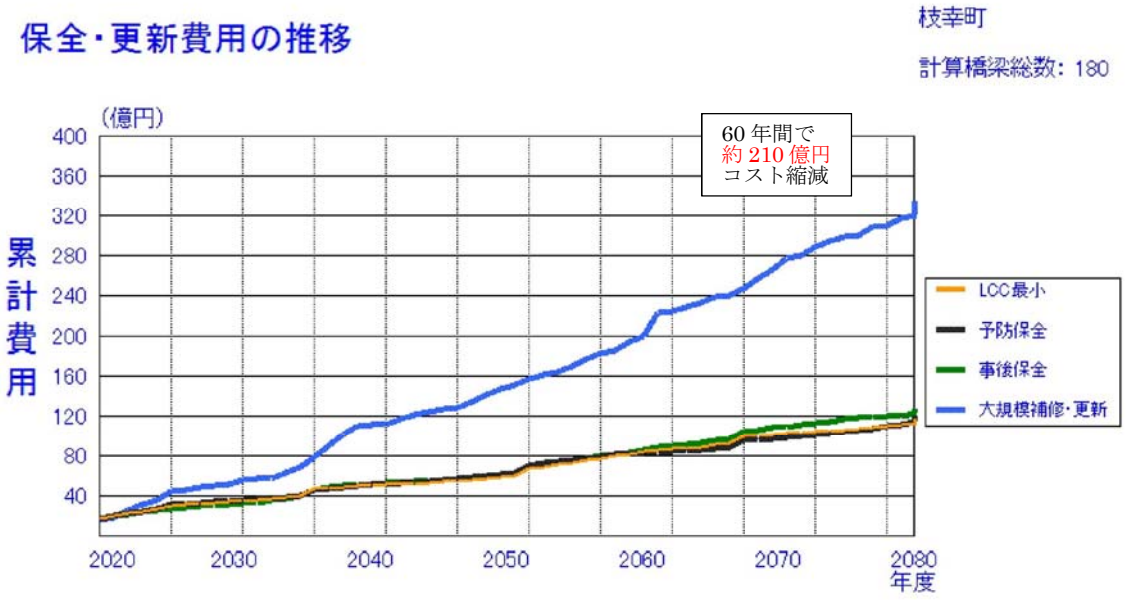
要素事業名	事業内容	地区	事業実施期間（年度）															全体概算事業費（百万円）
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
枝幸１号線	舗装改修 L=0.9km	枝幸																43
三笠町線	舗装改修 L=1.4km 歩道込	枝幸																273
ウエンナイ１号線	舗装改修 L=1.9km	枝幸																108
公園通線	舗装改修 L=2.4km	歌登																118
歌登中央線	舗装改修 L=2.8km	歌登																138
駅前通線	舗装改修 L=0.4km	歌登																21
計画期間合計事業費																		701

（７）橋梁の保全・更新費用の見通し

枝幸町橋梁長寿命化修繕計画では、2080 年度までの修繕・架替え事業費の試算を公表しています。

2080 年度までの修繕・架替え事業費を試算した結果、予防保全型の累計は約 110 億円、大規模補修・更新の累計は約 320 億円となり、予防保全型の維持修繕を実施することにより約 210 億円のコスト縮減効果が期待できます。

対象橋梁ごとの概ねの定期点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期については、枝幸町橋梁長寿命化修繕計画にて公表しています。

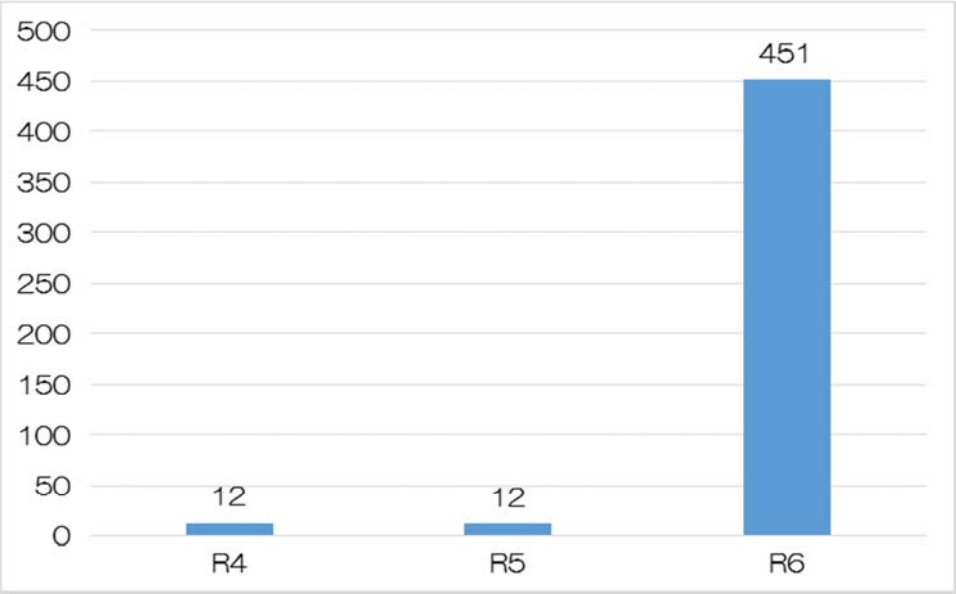


（８）公園の整備費用の見通し

枝幸町公園施設長寿命化計画では、平成 25 年度策定時点において、令和６年度までの事業費の試算をしています。令和６年度までの３年間の事業費見通しは約 4.8 億円となっています。

■公園施設の事業費概算

（単位：百万円）



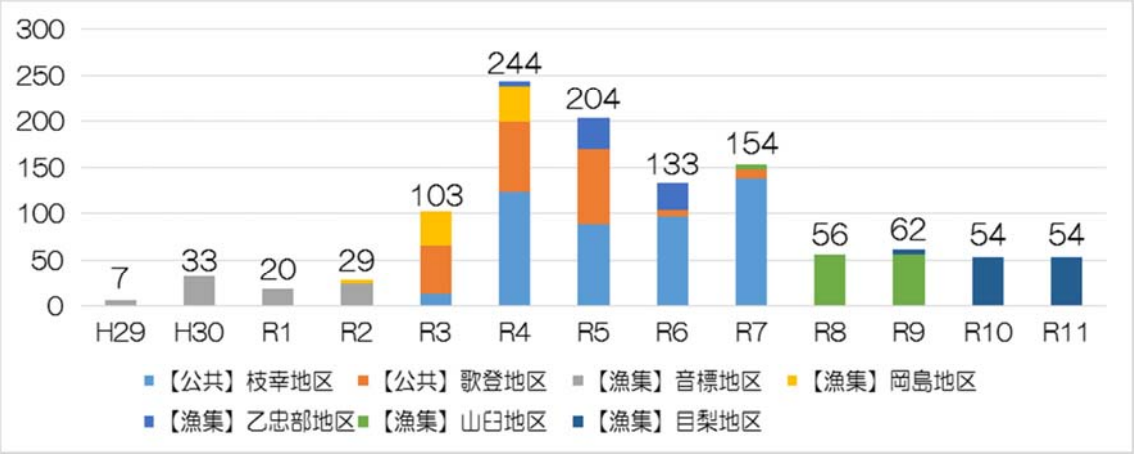
（９）下水道整備費用の見通し

漁集下水終末処理場機能保全計画及びストックマネジメント改築計画において、下水道関連事業計画を策定しています。

当町の漁業集落排水施設の機能保全対策事業計画では、予算の平準化を目的とし供用年数が古い順から対策を講じていく方針としています。

■下水道事業費概算

（単位：百万円）



Ⅲ 公共施設等の計画的な管理に関する基本方針

1. 公共施設等の課題

(1)公共施設等の改修・更新等への対応

過去に整備を進めてきた公共施設等の老朽化が進んでいます。今後、これらの公共施設等の改修・更新等の費用が発生することが見込まれ、今までのように改修・更新等への投資を継続していくと、町の財政を圧迫し、他の行政サービス（機能）に重大な影響を及ぼす可能性が出てくることが予想されます。

このような状況を回避するには、改修・更新等にかかる費用を全体的に抑制するとともに平準化させることが必要であり、今後は、中長期的な視点による計画的・戦略的な公共施設等の再編成・管理に取り組み、将来にわたっての取捨選択を行う必要があります。

また、現在保有する公共施設等の情報の一元管理に向け、より効率的な管理・運営を推進していくための組織体制の構築が必要となることから、今後策定予定である「公共施設再配置基本計画」を策定するため、庁内プロジェクトチームを組織し、公共施設等の最適化を図るために計画的、効率的な維持管理に努めます。

(2)人口減少・少子高齢化社会への対応

当町の総人口は、昭和 35 年をピークに高度経済成長期に急激に減少し、以降も緩やかではありますが減少傾向が続いています。人口ビジョンによると、令和 27（2045）年には 6,064 人となる見通しとなっています。

そのため、このような人口構成の大きな転換に伴う町民のニーズの変化に対応すべく、適正な公共施設等の総量規模や配置を検討していく必要があります。

また、地域によって人口増減の傾向や少子・高齢化の進行状況が異なっていることから、各地域の特性に応じた公共施設等の適正な配置や管理・運営を行っていく必要があります。

（３）逼迫する財政状況への対応

今後、人口の減少に伴い町税収入等一般財源の減少が予想されることに加えて、少子・高齢化に伴う扶助費等の義務的経費が増加することから、公共施設等の維持管理のための財源確保が難しくなることが見込まれます。

こうした厳しい財政状況の中で、公共施設等の管理・運営にかかる費用を縮減し、なおかつ機能の維持を図っていくことが大きな課題となります。

また、民間企業との連携や、町民との協働も視野に入れながら、事業の効率化や維持管理費の削減に取り組む必要があります。

そのためには、普通建設事業に係る町債発行の抑制、経常経費の節減合理化、公共施設等の運営・管理等の見直しや適切な維持修繕のための「公共施設再配置基本計画」の策定を行い、更に行政サービスに係る事務事業や組織・機構の適宜見直し、民間委託の推進など、行財政全般にわたる改革を積極的、計画的に推進します。

2. 公共施設マネジメントの基本的考え方

(１)基本的な考え方

公共施設マネジメントとは、縦割りにより各部署で管理していた公共施設等を一元的に把握して将来の費用負担を推計し、そのうえで老朽化した施設の統廃合や余剰施設の複合的な活用、施設の長寿命化や民間資金の導入などを行い、一定の行政サービスを維持しつつ、長期的な財政支出の削減を図る取り組みをいいます。

現状や課題に関する基本認識を踏まえ、公共施設マネジメントにおいては、人口構成など地域の特性や住民ニーズを踏まえながら、当町において目指す将来像「こころが結ぶ『森と海』優しさと活気あふれる北の理想郷」の実現に向け、公共施設等の適正な配置等の検討を行っていきます。

また、将来の人口動向や財政状況を踏まえ、新規の公共施設（建物）は供給量を適正化することとし、公共施設等のコンパクト化（統廃合、規模縮小等）の推進を図ります。

既存施設については、老朽化の状況や利用実態及び今後の需要見通しを踏まえ、今後とも保持していく必要があると認められた施設については、計画的な修繕・改善による品質の保持に努め、施設の有効活用を図ります。

また、情報の一元管理や共有を図るための管理システムの構築、全庁的な推進体制の確立及び民間活力の導入の検討などにより、効率的な管理・運営を図ります。

①公共施設（建物）

■供給に関する方針

〇機能の複合化等による効率的な施設配置

・老朽化が著しいが、町民サービスを行ううえで廃止できない施設については、周辺施設の立地状況を踏まえながら、機能の複合化や更新等により、効率的な施設配置及び町民ニーズの変化への対応を図ります。

〇施設総量の適正化

・町民ニーズや上位及び関連計画、政策との整合性、費用対効果を踏まえながら、人口減少や厳しい財政状況を勘案し、必要なサービス水準を確保しつつ施設総量の適正化（縮減）を図ります。

■品質に関する方針

〇予防保全の推進

・日常点検、定期点検を実施し、劣化状況の把握に努めるとともに、点検結果を踏まえた修繕や改修の実施により予防保全に努めます。

〇計画的な長寿命化の推進

・建築後、長期間経過した施設については、大規模改修の検討と耐震化を推進するとともに、長期的な修繕計画の策定や点検等の強化などにより、計画的な維持管理を推進し、必要に応じて施設の長寿命化を図ります。

■財務に関する方針

〇長期的費用の縮減と平準化

・改修及び更新等の費用の縮減と更新時期の集中化を避けることにより、歳出予算の縮減と平準化を図ります。

〇充当可能財源の有効活用

・改修費用は辺地及び過疎対策事業債、緊急防災・減災事業債などの条件有利な地方債や特定目的基金の計画的な活用により確保します。

〇維持管理費用の適正化

・現状の維持管理にかかる費用や業務内容を分析し、維持管理費用や施設使用料等の適正化を図ります。

〇民間活力の導入

・PPP[1]や PFI[2]などの手法を活用し、施設の整備や管理・運営における官民の連携を図り、財政負担の軽減と行政サービスの維持・向上を図ります。

---

1 PPP…パブリック・プライベート・パートナーシップの略で、公民が連携して公共サービスの提供を行うスキーム。

2 PFI…プライベート・ファイナンス・イニシアティブの略で、公共施工等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る考え方。PPP の代表的な手法のひとつ。

②インフラ系施設

■供給に関する方針

〇社会構造の変化を踏まえ、適正な供給を図ります。

■品質に関する方針

〇長寿命化の推進

・道路、橋梁、河川、上下水道、公園といった施設種別ごとの地域特性を考慮し、中長期的な経営視点に基づく計画的な維持管理を行います。

■財務に関する方針

〇維持管理費用の適正化

・計画的な点検や長寿命化による維持補修により、維持管理費用の適正化及び平準化を図ります。

〇民間活力の導入

・PPP や PFI などの手法を活用し、施設の整備や管理・運営における官民の連携を図り、財政負担の軽減と行政サービスの維持・向上を図ります。

（２）公共施設等の「施設総量」に関する基本的な考え方

① 財政状況や人口推計などを踏まえ、施設総量について目標値を定め、一定範囲内にコントロールする考え方を導入する。

② 行政が提供しなければならないサービスは何かを常に検討し、町民・民間企業・社会福祉法人・NPO 法人などと協力して、地域社会全体としてサービス提供を実現する（サービスのうち一定割合のみ行政が担う考え方もある）。

③ 公共施設等は本来の目的の他にも広い役割を担っており、まちづくり・防災・地域コミュニティなどの拠点施設であることを認識し、実施段階においては、地域特性を十分考慮する。

（３）公共施設等の「安全性・長寿命化」に関する基本的な考え方

① 耐震補強や点検の実施により、安全性を確保する。
② 既存の施設を長寿命化し、極力長く使えるようにする。
③ 不具合発生の都度修繕を行う「事後保全」から、不具合が起こる前に計画的に修繕する「予防保全」への転換を目指す。
④ ユニバーサルデザイン[3]対応、環境負荷軽減対応などを適宜実施し、時代が求めるスペックの施設となるように努める。

◆建物の「総量」
・財政面から、保有できる施設総量には限りがある。
・町民ニーズの変化にあわせて、減らす、拡充するものを検討する。
・施設総量は目標値を定めてコントロールする。

◆建物の「安全性・長寿命化」
・建物を使う以上、安全性の確保は大前提。
・長寿命化、耐震化などは、建物をどう使うかにかかわらず必要。

建物の総量と安全性・長寿命化は分けて考える。
それぞれに取り組みが必要。

（４）町民参加に関する基本的な考え方

① 公共施設等は、町民の大切な資産であることを認識し、課題と問題意識を常に共有する。
② 公共施設等に関する検討の際には、町民参加による合意形成を図るものとする。合意形成にあたっては、特定の利害関係に影響されることなく、公平な意見聴取となるように留意する。

3 ユニバーサルデザイン…文化・言語・国籍や老若男女の違いや障がい・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計をいう。

3. 公共施設等の総量に関する基本方針

（１）資産更新の方針

長寿命化を積極的に推進しても、いずれ寿命がやってきます。更新（建替え）を考える際に、考慮すべきことは下記のとおりです。これらについて検討したうえで、必要な施設について更新を行います。

① さらに長寿命化できないか（施設状態の点検）。
② 複合施設にできないか。
（他の建物に同居できないか。他の施設を取り込めないか）。
③ 事業（ソフト面）が、今後も長期間にわたりニーズがあるかどうか。
④ 法規面で問題はないか（用途地域など）。
⑤ 更新によって維持管理経費がどの程度縮減できるか試算。

（２）用途廃止施設の方針

用途廃止施設の処分や転用などについては、下記の方針で取り組みます。

① 使用できない建物は解体する（管理費用の縮減及びリスク低減）。
② 敷地については、売却や、他の施設の移転先として活用できないか検討する。
③ 使用可能な建物は、用途変更、売却、解体、現状維持などを比較検討する。

（３）施設総量適正化の具体的な取り組み

①公共施設（建物）

効率よくサービスを提供し、同時に規模を適正化できる方策には、次のようなものがあります。

まず、用途転換は、建物躯体はそのままで、内装だけを改修して、これまでとは違う施設として利用する方法です。ニーズが増加して、これまでの施設数

では不足しており、増設を検討する場合などに有効な選択肢となるもので、新築する場合に比べて迅速にサービス提供できることもメリットの一つです。

複合化は、建替え時などに、1 つの建物に複数の施設が入居する手法で、建物共用は、同じ建物、同じ部屋を曜日や時間帯によって別の施設として使う方法です。

これらの方策は、既に一部実施されているものもありますが、今後はより積極的に取り組めるような体制づくりが重要であると考えられます。

■統廃合（機能移転）

今後の人口減少に適切に対処し、コンパクトなまちづくりに取り組むとともに、将来にあっても豊かさとゆとりを実感できる、持続可能な地域社会を目指します。既存公共施設においては、維持・更新、廃止（取り壊し）、譲渡（民間等譲渡）、複合化のいずれかを選択し、更新を選択した場合には、既存施設に対して減築若しくは、他の施設との複合化を検討することとします。

検討対象施設については、建築基準法改正前の昭和 56（1981）年以前に建てられたもの、現在の利用状況によって前倒しで廃止するもの、将来の地区別人口及び年齢構成データをもとに施設ごとの利用者推計を行い、廃止または維持、民間への譲渡とする施設に分類し、譲渡にあっては準備期間を考慮した時期を定めるなどの整理を行います。

■施設の複合化

社会教育施設と体育施設、集会施設と学校教育施設等、異種施設の複合化により利用度の増加にも繋がります。施設の複合化は、資産更新問題が表面化する前から、他市町村で実施され効果をあげています。共用部分は延床面積の 40%を占めるという報告もあり、10%を超えるコストダウン実績も強調されており、今後は複合化施設の増加が予想されます。

■民間委譲

施設の民間委譲を検討しますが、委譲時期は、現状の施設の利用状態、老朽化の度合い、民間事業者の成熟度などを勘案のうえ個々に決定します。

対象施設としては、廃校舎や町有住宅などが想定されます。

民間委譲の方法としては、民間の意向を提案方式などにより事前に広く求めることが必要となります。それでも代替可能な民間事業者がいない場合は、民間委譲は困難となるため、統廃合、広域化の対象とします。

また、今後のまちづくりにおいて、PPP や PFI 等による公共施設の管理運営も含め、現在の管理手法を改善する施策について検討します。

■広域化

近隣住民の利用可能な施設としては、社会教育施設、体育施設などが想定されます。広域化には、下記の方法が考えられます。

①隣接自治体等との相互利用や他自治体の所有施設を利用する
②自治体の所有施設について、他自治体住民に利用させる代わりに当該自治体に費用を分担してもらう　など

②インフラ系施設

インフラについては、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストを縮減し予算を平準化していくため、長寿命化を図り、大規模な修繕や更新をできるだけ回避することが重要です。このため、施設特性を考慮のうえ、安全性や経済性を踏まえつつ、損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで、機能の保持・回復を図る**「予防保全型維持管理」**の導入を推進します。

維持管理コストは、管理水準や採用する構造・技術等によって大きく変化します。このため、新設・更新時には、維持管理が容易かつ確実に実施可能な構造を採用するほか、修繕時には、利用条件や設置環境等の各施設の特性を考慮するなど合理的な対策を選択します。

（４）ユニバーサルデザイン化の推進方針

バリアフリーは、障がいによりもたらされるバリア（障壁）に対処するとの考え方であるのに対し、ユニバーサルデザインはあらかじめ、障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方（内閣府：障害者基本計画）です。「総務省重点施策2018（平成 29 年 8 月 31 日公表）」においても、「全ての人にやさしい公共施設のユニバーサルデザイン化の推進」が重点施策の一つとして挙げられます。

今後の施設更新の際は、施設の機能や目的、利用状況などを考慮しながら、このユニバーサルデザインの視点を持って建物を設計し、障がいの有無、年齢、性別、人種等に関わらず多様な人々が施設を利用しやすい環境を整えていきます。

※当町での取り組み

公営住宅整備事業では、北海道公営住宅ユニバーサルデザインガイドブックに則り、平成 28 年の北栄団地整備事業から本格的に導入しています。

誰もが使いやすいシンプルな造りや在宅介護にも配慮した暮らしやすい部屋の広さの確保、多様な世帯構成･人数等での暮らしに対応可能で、入居者の生活様式に合わせた家具の配置や使い方ができるよう設計されています。

4. 公共施設等の維持管理方針

（１）点検・診断等の実施方針

公共施設等については、適正な公共投資並びに公共施設等の維持管理費を節減するためのコンパクトなまちづくりに資するべく、建替え・更新時の統廃合などでの維持、再編を図ります。

また、施設の適切な維持管理により建物の性能を十分に発揮することから、専門的・技術的知識のほか、日常の維持管理が重要となります。

公共施設等は利用状況、設置された自然環境等に応じ、劣化や損傷の進行は各施設で異なり、その状態は時々、刻々と変化します。現状では、これらの変化を正確に捉え、施設寿命を精緻に評価することは技術的に困難であるという共通認識に立ち、各施設の特性を考慮したうえで、定期的な目視点検・診断により状態を正確に把握します。

インフラについても、維持管理費の節減を図るため、施設の長寿命化を図ります。インフラの健全度の把握については、定期的な点検の実施による予防的かつ計画的な対応を行います。

点検、診断の結果に基づき、必要な対策を適切な時期に、着実かつ効率的、効果的に実施するとともに、これらの取り組みを通じて得られた施設の状態や対策履歴等の情報を個々の施設カルテとして記録、保存し、次期点検・診断等に活用します。

（２）維持管理・修繕・更新等の実施方針

公共施設等については、建物の劣化状況や担当部署の意見、各施設の耐用年数経過状況を踏まえて検討し、社会状況や町民ニーズの変化等を考慮し、修繕・更新を計画的に実施します。

なお、更新に際しては、燃料費や光熱水費などの維持管理費の削減につながる仕様を推進します。

また、更新時においては、PFI 事業などの公民連携による民間資金、ノウハウを活用・導入する検討を行います。

（３）安全確保の実施方針

公共施設等については、災害時の避難施設としての役割を持つ施設も多く、その機能・安全性の確保に向けた施設価値を向上させる取り組みが必要となります。バリアフリー[4]化の充実及びユニバーサルデザインの活用を図り、町民誰もが利用しやすい施設・設備の整備を進めていきます。環境性能など質的向上への対応、建設廃棄物の抑制、省エネルギー化の推進など環境にも配慮します。

点検、診断等により高い危険度が認められた施設については、立入禁止や利用休止などの安全対策を講じ、利用者の安全性を確保します。なお、引き続き利用が必要と判断された場合は、緊急性・重要性を勘案して、必要な改修等を行います。また、供用廃止となり、かつ今後も利用見込みのない施設については、速やかに除却や売却等の検討を行います。

（４）耐震化の実施方針

耐震化未適合施設について、本計画の方針に沿って当該施設の必要性を判断したうえで、存続を判断された施設については、耐震化率向上を目指し、計画的・効果的な耐震化整備の実施を図ります。

（５）長寿命化の実施方針

今後も維持継続していく必要がある施設については、定期的な点検や修繕による予防保全に努めるとともに、計画的な機能改善による施設の長寿命化を推進します。

また、今後策定予定である個別の長寿命化計画については、本計画における基本方針との整合性を図ります。

①大規模改修時期の検討

長寿命化の目標は、一般的に建替えや解体まで 60 年の施設を 80 年にす

[4] バリアフリー…障がい者や高齢者の生活に不便な障害を取り除こうという考え方。段差のない住宅・道路の敷設や点字ブロック、補聴器などの普及、シンプルな機能で使いやすい家電など。

るなどの長寿命化目標とし、大規模改修等を実施することも検討します。

将来の維持更新費の算出には、通常 30 年で大規模改修時期を迎える公共施設等に対し、40 年で大規模な改修を実施して 80 年に到達するまで使用するなど、施設の建替え時期を考慮して、長寿命化を検討します。

②公共施設（建物）の長寿命化

公共施設（建物）は、点検、改修などを計画的に実施し、内装や設備機器を定期的に修繕、交換することにより品質を向上させ、耐用年数の延伸を推進します。

また、廃止する施設の中でも耐久性の高い構造施設は、用途変更を検討して、建物の内装や設備などを改造し、長期間使用することが可能となります。

③インフラ系施設の長寿命化

インフラ系施設は、個別の長寿命化計画などに基づき、耐久性の高い材料の採用、施工方法などを検討し、品質を向上させるため、予防保全による計画的な修繕を行い、使用期間の長期化を推進します。

5. 過去に行った対策の実績

当町は、本計画策定後の平成 29 年度～令和２年度の間に、基本方針に則り長寿命化に向けた工事を行ってきました。主な工事は以下のとおりとなります。

年度	施設名	工事内容
H29	歌登 B&G 海洋センター	長寿命化工事
H29	うたのぼり交流センター「歌種」	長寿命化工事
H29	北幸第２団地	長寿命化工事
H29	枝幸リサイクルセンター	長寿命化工事
H29～H30	山臼小学校	耐震化・長寿命化工事
H29・R1～R2	港団地	長寿命化工事
H30	音標保育所	長寿命化工事
H30	三笠山展望閣	長寿命化工事
H30	枝幸小学校	長寿命化工事
H30	音標小学校	耐震化・長寿命化工事
H30～R1	枝幸バスターミナル	長寿命化工事
H30・R2	新栄団地	長寿命化工事
R1	東町新栄会館	長寿命化工事
R1	目梨泊小学校	耐震化・長寿命化工事
R1～R2	役場本庁舎	耐震化・長寿命化工事

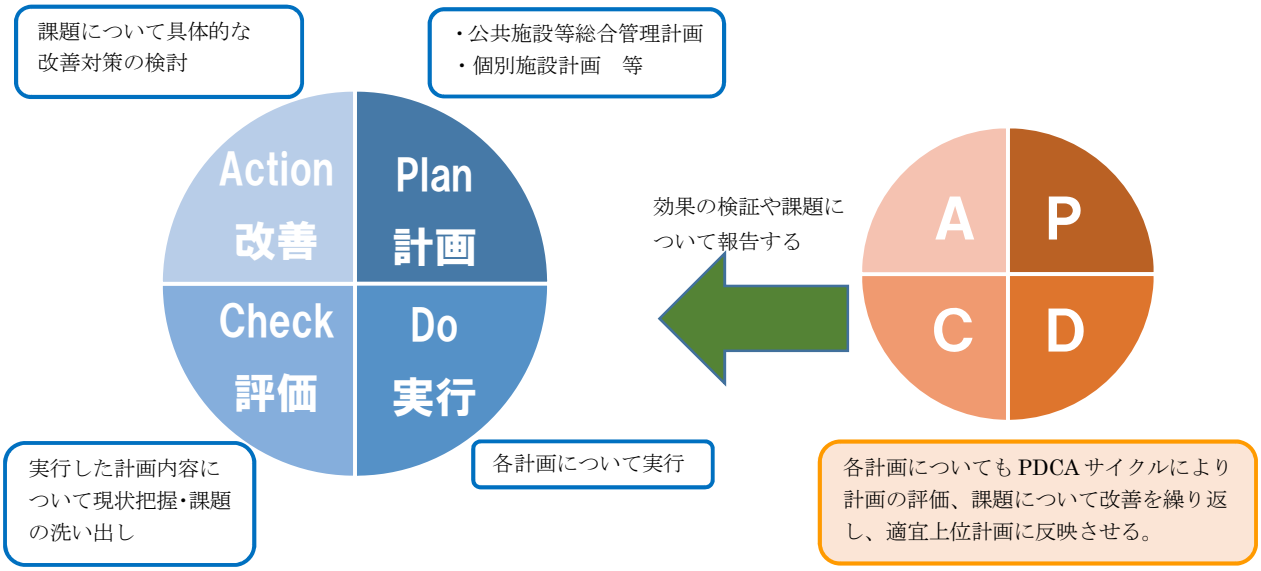
6. フォローアップの実施方針

この計画の内容については、今後の財政状況や環境の変化に応じて、適宜見直しを行います。また、公共施設再配置の検討にあたっては、議会や町民に対し随時情報提供を行い、町全体で認識の共有化を図ります。

7. PDCA サイクルの確立

本計画は公共施設マネジメントに PDCA サイクルを採り入れ、常時、Plan（計画）➞Do（実行）➞Check（評価）➞Action（改善）を意識することにより、計画自体を継続的に改善していきます。

施設所管課は、本計画に基づいて施設ごとに再編計画や保全計画を作成し、PDCA を繰り返し、施設ごとに効果の検証と課題等を庁内プロジェクトチームに報告します。庁内プロジェクトチームでは本計画の進行状況をまとめ、内容の検討を繰り返すことにより、適正な計画へと見直しを行います。



Ⅳ 施設分類ごとの基本方針

1. 公共施設(建物)

(1)行政施設

当町の役場本庁舎は築後 40 年以上経過しておりますが、令和 2 年度に大規模改修を行いました。今後も施設整備を行い、継続して活用していく予定です。

一方、歌登総合支所庁舎は新しい施設であり、年間の維持管理費の削減に努めるとともに、より長期間の活用を目指します。

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
1	役場本庁舎	1979	41	80.0%	現状維持	現状維持
2	歌登総合支所庁舎	2012	8	14.0%	長寿命化	長寿命化

◇今後予定される事業

・過疎持続発展計画より

(2)保健福祉施設

全体的に築後 10～30 年程度経過している施設が複数あります。各施設の方向性に基づき、施設整備を進めていきます。

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
1	地域活動支援センター	2005	15	64.4%	機能移転	機能移転
2	枝幸学童保育所	2008	12	24.2%	現状維持	現状維持
3	老人福祉センター	1978	42	100.0%	地域移管	地域移管
4	保健福祉センター	1997	23	48.4%	現状維持	現状維持
5	南宗谷子ども通園センター	1998	22	46.2%	現状維持	現状維持
6	枝幸保育所	1995	25	52.8%	機能移転	機能移転
7	枝幸地域子育て支援センター	2009	11	22.0%	機能移転	機能移転
8	子ども会館	1969	51	100.0%	現状維持	除却
9	子育てサポート拠点施設「にじの森」	2017	3	8.4%	現状維持	現状維持
10	音標保育所	1981	39	100.0%	現状維持	現状維持
11	歌登保育所	1984	36	77.0%	多機能化	多機能化
12	介護サービスセンター	1999	21	44.0%	現状維持	現状維持
13	枝幸町国民健康保険病院	1995	25	48.0%	現状維持	更新
14	枝幸町国民健康保険歌登診療所・介護老人保健施設うたのぼり	1994	26	65.0%	転用	転用

◇今後予定される事業

・過疎持続発展計画より

（３）社会教育施設

社会教育施設については、全ての施設が築 20 年以上であり、老朽化が進んでいます。今後の具体的な方向性や施設の方向性については、枝幸町教育施設等長寿命化計画で定めている施設もあり、計画に基づいた施設整備を進めていく予定です。

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
1	オホーツクミュージアムえさし	1991	29	56.0%	長寿命化	長寿命化
2	図書館	1978	42	82.0%	長寿命化	長寿命化
3	歌登児童館・フォレストピアホール	1993	27	57.2%	長寿命化	長寿命化
4	歌登陶芸センター	1982	38	100.0%	機能移転	除却
5	歌登文化会館	1979	41	88.0%	現状維持	機能移転
6	歌登サケの里資料館	1994	26	100.0%	長寿命化	長寿命化

◇関連個別施設計画
・枝幸町教育施設等長寿命化計画
◇今後予定される事業
・過疎持続発展計画より

（４）体育施設

体育施設については、老朽化が進んでいる施設が多く、老朽化が進んでいます。今後の具体的な方向性や施設の方向性については、枝幸町教育施設等長寿命化計画で定めており、計画に基づいた施設整備を進めていく予定です。

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
1	総合体育館	1982	38	81.4%	長寿命化	長寿命化
2	屋内多目的グラウンド「かもめアリーナ」	1993	27	78.0%	長寿命化	長寿命化
3	三笠山スキー場　ヒュッテ	1984	36	94.5%	長寿命化	長寿命化
4	三笠山スキー場　物品庫	1982	38	100.0%	現状維持	現状維持
5	三笠山スキー場　ロッカー室	1987	33	100.0%	現状維持	現状維持
6	三笠山スキー場　機械格納庫	1982	38	100.0%	現状維持	現状維持
7	歌登B&G海洋センター	1992	28	59.4%	長寿命化	長寿命化
8	歌登屋内グラウンド	1987	33	86.4%	各種見直し	各種見直し
9	歌登球場　附設放送室	1985	35	85.0%	長寿命化	長寿命化

◇関連個別施設計画
・枝幸町教育施設等長寿命化計画
◇今後予定される事業
・過疎持続発展計画より

（５）産業施設

産業施設は公共育成牧場や水産物鮮度保持・加工処理施設など、比較的新しい施設が多く、町としての産業振興の方針や産業別人口の推移も考慮し、更新、長寿命化を検討していきます。

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
1	商工センター	2002	18	34.0%	長寿命化	長寿命化
2	漁船保全修理施設	2004	16	45.0%	長寿命化	更新
3	水産物鮮度保持・加工処理施設	2011	9	26.4%	長寿命化	長寿命化
4	公共育成牧場　管理事務所	2010	10	37.8%	長寿命化	長寿命化
5	公共育成牧場　飼料調整庫	2010	10	29.7%	長寿命化	長寿命化
6	公共育成牧場　機械庫	2010	10	29.7%	長寿命化	長寿命化
7	公共育成牧場　哺育・育成舎	2011	9	47.2%	長寿命化	長寿命化
8	公共育成牧場　機械庫2	2011	9	26.4%	長寿命化	長寿命化
9	公共育成牧場　堆肥舎	2011	9	26.4%	更新	更新
10	公共育成牧場　敷料庫	2011	9	26.4%	長寿命化	長寿命化
11	公共育成牧場　バンカーサイロ	2012	8	21.0%	長寿命化	長寿命化
12	公共育成牧場　育成舎	2012	8	41.3%	長寿命化	長寿命化
13	公共育成牧場　受入牛舎	2010	10	53.1%	長寿命化	長寿命化
14	公共育成牧場　哺育舎	2011	9	47.2%	長寿命化	長寿命化
15	公共育成牧場　乾草庫	2016	4	9.9%	長寿命化	長寿命化
16	公共育成牧場　育成舎2	2020	0	－	長寿命化	長寿命化

◇今後予定される事業

・過疎持続発展計画より

（６）観光施設

観光施設は箇所数も多く充実していますが、老朽化が進んでいます。
利用状況や維持管理費用を勘案し、統廃合を含めた検討を行っていきます。

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
1	ホテルニュー幸林	1984	36	77.0%	長寿命化	長寿命化
2	三笠山展望閣	1985	35	100.0%	現状維持	現状維持
3	道の駅「マリーンアイランド岡島」	1995	25	52.8%	現状維持	現状維持
4	岡島海水浴場　管理棟	1995	25	60.0%	現状維持	現状維持
5	うたのぼりグリーンパークホテル	1974	46	99.0%	現状維持	集約化
6	南宗谷ゴルフ場　休憩室	1986	34	89.1%	長寿命化	長寿命化
7	南宗谷ゴルフ場　トイレ	1990	30	78.3%	長寿命化	長寿命化
8	南宗谷ゴルフ場　屋外施設管理棟	1987	33	64.0%	長寿命化	長寿命化
9	南宗谷ゴルフ場　センターハウス	1987	33	70.4%	長寿命化	長寿命化
10	コテージの里　コテージ	1992	28	100.0%	長寿命化	長寿命化
11	コテージの里　センターハウス	1992	28	100.0%	長寿命化	長寿命化

◇今後予定される事業

・過疎持続発展計画より

（７）集会施設

集会施設については、老朽化が進んでいる施設が多く、施設の劣化具合や利用状況等を含めて方向性を検討していきます。

地域ごとの他施設も含めた利用状況等を勘案し、異種施設の複合化も視野に入れて検討します。

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
1	目梨泊コミュニティセンター	1991	29	84.0%	現状維持	現状維持
2	問牧コミュニティセンター	1990	30	87.0%	現状維持	現状維持
3	岬町コミュニティセンター	1972	48	100.0%	現状維持	現状維持
4	北浜コミュニティセンター	1983	37	100.0%	現状維持	現状維持
5	三笠コミュニティセンター	1984	36	100.0%	現状維持	現状維持
6	中央コミュニティセンター	1991	29	61.6%	長寿命化	長寿命化
7	下幌別コミュニティセンター	1983	37	100.0%	現状維持	現状維持
8	岡島コミュニティセンター	1988	32	93.0%	現状維持	現状維持
9	徳志別コミュニティセンター	1995	25	72.0%	現状維持	現状維持
10	山臼コミュニティセンター	1994	26	75.0%	現状維持	現状維持
11	乙忠部コミュニティセンター	1990	30	87.0%	現状維持	現状維持
12	風烈布コミュニティセンター	1988	32	93.0%	現状維持	現状維持
13	音標コミュニティセンター	1989	31	90.0%	現状維持	現状維持
14	上音標コミュニティセンター	1970	50	100.0%	現状維持	除却
15	東町新栄会館	2000	20	41.8%	現状維持	現状維持
16	うたのぼり交流センター「歌種」	1990	30	100.0%	長寿命化	長寿命化
17	光南会館	1979	41	100.0%	現状維持	現状維持
18	桧垣会館	2007	13	26.4%	現状維持	現状維持
19	東歌登自治会館	1988	32	100.0%	現状維持	現状維持
20	般家内会館	1973	47	100.0%	長寿命化	長寿命化
21	辺毛内会館	1978	42	100.0%	現状維持	集約化
22	中央地区コミュニティセンター「ひまわり」	1991	29	61.6%	現状維持	現状維持
23	本幌別地区コミュニティセンター「やねむね」	1999	21	44.0%	現状維持	現状維持
24	志美宇丹地区コミュニティセンター「志林」	1993	27	57.2%	現状維持	現状維持
25	大奮会館	1983	37	100.0%	長寿命化	長寿命化
26	上徳志別会館	1971	49	100.0%	長寿命化	長寿命化

◇関連個別施設計画

・中央コミュニティセンターは枝幸町教育施設等長寿命化計画に記載あり

◇今後予定される事業

・過疎持続発展計画より

（８）学校教育施設

学校教育施設については、古い建物が多く、計画的な修繕を行っておりますが、具体的な整備の方向性は、枝幸町教育施設等長寿命化計画で定めており、計画に基づいた施設整備を進めていく予定です。

小中学校などの多くは、災害時の避難場所となるため、建物本体や各種設備などの老朽化した箇所の改修を計画的に実施することで、防災機能の向上を図り、安全・安心な学校施設等を目指します。

なお、学校施設などの鉄筋コンクリート構造の法定耐用年数は、減価償却費を算定するため 47 年に設定しています。

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
1	目梨泊小学校	1980	40	100.0%	現状維持	現状維持
2	枝幸小学校	1948	72	100.0%	長寿命化	長寿命化
3	枝幸中学校	1952	68	100.0%	長寿命化	長寿命化
4	学校給食センター	2012	8	15.4%	長寿命化	長寿命化
5	岡島小学校	1973	47	100.0%	長寿命化	長寿命化
6	山臼小学校	1948	72	100.0%	長寿命化	長寿命化
7	旧乙忠部小学校	1982	38	100.0%	現状維持	現状維持
8	風烈布小学校	1935	85	100.0%	長寿命化	長寿命化
9	枝幸南中学校	1975	45	100.0%	長寿命化	長寿命化
10	音標小学校	1970	50	100.0%	長寿命化	長寿命化
11	歌登小学校	1911	109	100.0%	長寿命化	長寿命化
12	歌登中学校	1972	48	100.0%	長寿命化	長寿命化

◇関連個別施設計画

・枝幸町教育施設等長寿命化計画

◇今後予定される事業

・過疎持続発展計画より

（９）住宅

公営住宅については、既に策定されている枝幸町公営住宅等長寿命化計画に従って効率的な維持管理に努めます。教員住宅及び町職員住宅については、利用状況を踏まえ適切な戸数に合わせて更新を実施します。

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
1	目梨泊小学校　教員住宅731	1979	41	100.0%	現状維持	現状維持
2	目梨泊小学校　教員住宅732	1980	40	100.0%	現状維持	現状維持
3	目梨泊小学校　教員住宅785	1987	33	100.0%	現状維持	現状維持
4	問牧団地　1号棟	1994	26	67.5%	現状維持	除却
5	旧問牧小学校　教員住宅804	1994	26	100.0%	現状維持	現状維持
6	から松団地　1号棟	1981	39	100.0%	現状維持	除却
7	から松団地　2号棟	1981	39	100.0%	現状維持	除却
8	から松団地　3号棟	1982	38	99.9%	現状維持	除却
9	栄団地　2号棟	1992	28	72.9%	長寿命化	長寿命化
10	栄団地　3号棟	1992	28	72.9%	長寿命化	長寿命化
11	栄団地　4号棟	1992	28	72.9%	長寿命化	長寿命化
12	栄団地　1号棟	1993	27	70.2%	長寿命化	長寿命化
13	栄団地　5号棟	1993	27	70.2%	長寿命化	長寿命化
14	勤労青年独身者住宅　1号棟	1994	26	100.0%	現状維持	現状維持
15	勤労青年独身者住宅　3号棟	1998	22	96.6%	現状維持	現状維持
16	職員住宅220	1974	46	100.0%	除却	除却
17	職員住宅221	1974	46	100.0%	除却	除却
18	職員住宅234	2000	20	87.4%	現状維持	現状維持
19	職員住宅236	1980	40	100.0%	現状維持	現状維持
20	職員住宅237	1980	40	100.0%	現状維持	現状維持
21	職員住宅238	1996	24	100.0%	現状維持	現状維持
22	職員住宅241	1976	44	100.0%	除却	除却
23	職員住宅242	1976	44	100.0%	除却	除却
24	枝幸小学校　教員住宅775	1985	35	100.0%	更新	現状維持
25	枝幸小学校　教員住宅776	1985	35	100.0%	更新	現状維持
26	北栄団地　9号棟	1975	45	100.0%	更新	更新
27	北栄団地　10号棟	1976	44	100.0%	更新	更新
28	北栄団地　11号棟	1976	44	100.0%	更新	更新
29	北栄団地　12号棟	1976	44	100.0%	更新	更新
30	北栄団地　13号棟	1976	44	100.0%	更新	更新
31	北栄団地　14号棟	1976	44	100.0%	更新	更新
32	北栄団地　15号棟	1977	43	100.0%	更新	更新
33	北栄団地　16号棟	1977	43	100.0%	更新	更新
34	北栄団地　17号棟	1977	43	100.0%	更新	更新
35	北栄団地　18号棟	1977	43	100.0%	更新	更新
36	北栄団地　19号棟	1977	43	100.0%	更新	更新
37	北栄団地　1号棟	2016	4	13.8%	更新	更新
38	北栄団地　2号棟	2017	3	9.2%	更新	更新
39	北栄団地　4号棟	2018	2	4.6%	更新	更新
40	北栄団地　5号棟	2019	1	0.0%	更新	更新
41	北栄団地　3号棟	2020	0	0.0%	更新	更新
42	勤労青年独身者住宅　2号棟	1995	25	100.0%	現状維持	現状維持
43	職員住宅215	1975	45	100.0%	除却	除却
44	職員住宅222	1974	46	100.0%	除却	除却
45	職員住宅227	1989	31	100.0%	現状維持	現状維持
46	職員住宅228	1989	31	100.0%	現状維持	現状維持
47	職員住宅232	1998	22	96.6%	現状維持	現状維持
48	職員住宅233	1999	21	92.0%	現状維持	現状維持
49	職員住宅239	2011	9	36.8%	現状維持	現状維持
50	職員住宅243	1982	38	99.9%	現状維持	現状維持
51	枝幸小学校　教員住宅777-1	1986	34	89.1%	長寿命化	長寿命化
52	枝幸中学校　教員住宅777-2	1986	34	89.1%	長寿命化	長寿命化

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
53	三笠団地　1号棟	1996	24	62.1%	長寿命化	長寿命化
54	三笠団地　2号棟	1997	23	59.4%	長寿命化	長寿命化
55	三笠団地　5号棟	1997	23	59.4%	長寿命化	長寿命化
56	三笠団地　3号棟	1998	22	56.7%	長寿命化	長寿命化
57	三笠団地　4号棟	1998	22	56.7%	長寿命化	長寿命化
58	三笠団地　6号棟	1998	22	56.7%	長寿命化	長寿命化
59	三笠団地　7号棟	1998	22	56.7%	長寿命化	長寿命化
60	三笠団地　8号棟	1998	22	56.7%	長寿命化	長寿命化
61	三笠団地　9号棟	1999	21	54.0%	長寿命化	長寿命化
62	三笠団地　10号棟	1999	21	54.0%	長寿命化	長寿命化
63	三笠団地　11号棟	1999	21	54.0%	長寿命化	長寿命化
64	三笠団地　12号棟	1999	21	54.0%	長寿命化	長寿命化
65	三笠団地　13号棟	2000	20	51.3%	長寿命化	長寿命化
66	寿団地　1号棟	2002	18	45.9%	現状維持	現状維持
67	寿団地　2号棟	2003	17	43.2%	現状維持	現状維持
68	寿団地　3号棟	2004	16	40.5%	現状維持	現状維持
69	職員住宅229	1990	30	100.0%	現状維持	現状維持
70	職員住宅230	1990	30	100.0%	現状維持	現状維持
71	職員住宅235	2001	19	82.8%	現状維持	現状維持
72	枝幸小学校　教員住宅795	1992	28	100.0%	更新	現状維持
73	枝幸小学校　教員住宅797	1992	28	100.0%	更新	現状維持
74	職員住宅240	2016	4	13.8%	現状維持	現状維持
75	緑苑団地　1号棟	1979	41	88.0%	長寿命化	長寿命化
76	新港団地　1号棟	2005	15	64.4%	現状維持	現状維持
77	新港団地　2号棟	2005	15	64.4%	現状維持	現状維持
78	新港団地　5号棟	2006	14	59.8%	現状維持	現状維持
79	新港団地　6号棟	2006	14	28.6%	現状維持	現状維持
80	新港団地　3号棟	2007	13	55.2%	現状維持	現状維持
81	新港団地　4号棟	2007	13	55.2%	現状維持	現状維持
82	新港団地　8号棟	2007	13	55.2%	現状維持	現状維持
83	新港団地　9号棟	2010	10	41.4%	現状維持	現状維持
84	新港団地　10号棟	2012	8	32.2%	現状維持	現状維持
85	新港団地　11号棟	2012	8	32.2%	現状維持	現状維持
86	新港団地　12号棟	2013	7	27.6%	現状維持	現状維持
87	新港団地　13号棟	2013	7	27.6%	現状維持	現状維持
88	新港団地　14号棟	2014	6	23.0%	現状維持	現状維持
89	新港団地　15号棟	2014	6	23.0%	現状維持	現状維持
90	新港団地　7号棟	2015	5	8.8%	現状維持	現状維持
91	枝幸小学校　教員住宅725	1979	41	100.0%	更新	現状維持
92	枝幸小学校　教員住宅726	1980	40	100.0%	更新	現状維持
93	枝幸中学校　教員住宅787	1987	33	100.0%	長寿命化	更新
94	枝幸中学校　教員住宅788	1987	33	100.0%	長寿命化	更新
95	枝幸中学校　教員住宅796	1992	28	72.9%	長寿命化	長寿命化
96	枝幸小学校　教員住宅803-1	1993	27	70.2%	現状維持	現状維持
97	枝幸中学校　教員住宅803-2	1993	27	70.2%	現状維持	現状維持
98	北幸団地　1号棟	2000	20	51.3%	長寿命化	長寿命化
99	北幸団地　2号棟	2001	19	48.6%	長寿命化	長寿命化
100	北幸団地　3号棟	2002	18	45.9%	長寿命化	長寿命化
101	北幸団地　4号棟	2003	17	43.2%	長寿命化	長寿命化
102	北幸団地　5号棟	2003	17	43.2%	長寿命化	長寿命化
103	北幸団地　6号棟	2004	16	40.5%	長寿命化	長寿命化
104	北幸団地　7号棟	2005	15	37.8%	長寿命化	長寿命化
105	北幸団地　9号棟	2005	15	37.8%	長寿命化	長寿命化
106	北幸団地　8号棟	2006	14	35.1%	長寿命化	長寿命化
107	北幸団地　10号棟	2006	14	35.1%	長寿命化	長寿命化
108	北幸団地　11号棟	2007	13	32.4%	長寿命化	長寿命化
109	北幸団地　12号棟	2007	13	32.4%	長寿命化	長寿命化
110	北幸団地　13号棟	2007	13	32.4%	長寿命化	長寿命化
111	北幸団地　14号棟	2008	12	29.7%	長寿命化	長寿命化
112	北幸団地　15号棟	2009	11	22.0%	長寿命化	長寿命化
113	北幸団地　16号棟	2009	11	22.0%	長寿命化	長寿命化
114	北幸団地　17号棟	2011	9	17.6%	長寿命化	長寿命化

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
115	北幸第２団地　36号棟	1983	37	97.2%	現状維持	更新
116	北幸第２団地　37号棟	1983	37	97.2%	現状維持	更新
117	北幸第２団地　32号棟	1984	36	94.5%	現状維持	更新
118	北幸第２団地　33号棟	1984	36	94.5%	現状維持	更新
119	北幸第２団地　34号棟	1984	36	94.5%	現状維持	更新
120	北幸第２団地　35号棟	1984	36	94.5%	現状維持	更新
121	北幸第２団地　38号棟	1985	35	91.8%	現状維持	更新
122	北幸第２団地　39号棟	1985	35	91.8%	現状維持	更新
123	北幸第２団地　40号棟	1986	34	89.1%	現状維持	更新
124	北幸第２団地　41号棟	1987	33	86.4%	現状維持	更新
125	北幸第２団地　42号棟	1988	32	83.7%	現状維持	更新
126	北幸第２団地　43号棟	1988	32	83.7%	現状維持	更新
127	枝幸小学校　教員住宅807-1	1996	24	62.1%	現状維持	現状維持
128	枝幸中学校　教員住宅807-2	1996	24	62.1%	現状維持	現状維持
129	港団地　1号棟	1989	31	81.0%	長寿命化	長寿命化
130	港団地　2号棟	1990	30	78.3%	長寿命化	長寿命化
131	港団地　3号棟	1991	29	75.6%	長寿命化	長寿命化
132	港団地　4号棟	1992	28	72.9%	長寿命化	長寿命化
133	港団地　5号棟	1993	27	70.2%	長寿命化	長寿命化
134	港団地　6号棟	1993	27	70.2%	長寿命化	長寿命化
135	港団地　7号棟	1994	26	67.5%	長寿命化	長寿命化
136	港団地　8号棟	1995	25	64.8%	長寿命化	長寿命化
137	職員住宅226	1989	31	81.0%	現状維持	現状維持
138	職員住宅231	1996	24	62.1%	現状維持	現状維持
139	枝幸小学校　教員住宅793-1	1989	31	81.0%	長寿命化	長寿命化
140	枝幸中学校　教員住宅793-2	1989	31	81.0%	長寿命化	長寿命化
141	枝幸小学校　教員住宅794-1	1991	29	75.6%	長寿命化	長寿命化
142	枝幸中学校　教員住宅794-2	1991	29	75.6%	長寿命化	長寿命化
143	岡島小学校　教員住宅741	1984	36	100.0%	現状維持	現状維持
144	岡島小学校　教員住宅780	1986	34	100.0%	現状維持	現状維持
145	岡島小学校　教員住宅805	1995	25	100.0%	現状維持	現状維持
146	岡島小学校　教員住宅848	2010	10	41.4%	現状維持	現状維持
147	徳志別団地　1号棟	1990	30	78.3%	現状維持	除却
148	山臼団地　1号棟	2007	13	32.4%	現状維持	現状維持
149	山臼団地　2号棟	2009	11	46.0%	現状維持	現状維持
150	山臼小学校　教員住宅779	1986	34	100.0%	現状維持	現状維持
151	山臼小学校　教員住宅781	1986	34	100.0%	現状維持	現状維持
152	山臼小学校　教員住宅782	1986	34	100.0%	現状維持	現状維持
153	山臼小学校　教員住宅799	1993	27	100.0%	現状維持	現状維持
154	乙忠部団地　1号棟	1981	39	100.0%	除却	除却
155	乙忠部団地　2号棟	1993	27	70.2%	現状維持	除却
156	旧乙忠部小学校　教員住宅759	1982	38	100.0%	現状維持	現状維持
157	旧乙忠部小学校　教員住宅792	1989	31	100.0%	現状維持	現状維持
158	旧乙忠部小学校　教員住宅801	1993	27	100.0%	現状維持	現状維持
159	旧乙忠部小学校　教員住宅806	1996	24	100.0%	現状維持	現状維持
160	枝幸南中学校　教員住宅774	1982	38	100.0%	現状維持	現状維持
161	風烈布小学校　教員住宅783	1986	34	100.0%	現状維持	現状維持
162	風烈布小学校　教員住宅784	1986	34	100.0%	現状維持	現状維持
163	枝幸南中学校　教員住宅791	1989	31	100.0%	現状維持	現状維持
164	風烈布小学校　教員住宅798	1992	28	100.0%	現状維持	現状維持
165	風烈布小学校　教員住宅802-1	1993	27	100.0%	現状維持	現状維持
166	枝幸南中学校　教員住宅802-2	1993	27	100.0%	現状維持	現状維持
167	風烈布小学校　教員住宅808	1998	22	96.6%	現状維持	現状維持
168	枝幸南中学校　教員住宅809	2000	20	87.4%	現状維持	現状維持
169	枝幸南中学校　教員住宅810	2001	19	82.8%	現状維持	現状維持
170	音標団地　1号棟	1981	39	100.0%	除却	除却
171	音標団地　2号棟	2000	20	51.3%	現状維持	現状維持
172	音標団地　3号棟	2000	20	51.3%	現状維持	現状維持
173	音標小学校　教員住宅769	1984	36	94.5%	現状維持	現状維持
174	音標小学校　教員住宅786	1987	33	100.0%	現状維持	現状維持
175	音標小学校　教員住宅800	1993	27	100.0%	現状維持	現状維持

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
176	新栄団地　H8号棟	1996	24	50.6%	長寿命化	長寿命化
177	新栄団地　H9号棟	1997	23	48.4%	長寿命化	長寿命化
178	新栄団地　H10号棟	1998	22	46.2%	長寿命化	長寿命化
179	新栄団地　H11号棟	1999	21	44.0%	長寿命化	長寿命化
180	新栄団地　H12号棟（特公賃）	2000	20	41.8%	長寿命化	長寿命化
181	新生団地　1号棟	1982	38	100.0%	除却	除却
182	新生団地　2号棟	1982	38	100.0%	除却	除却
183	新生団地　3号棟	1983	37	100.0%	除却	除却
184	新生団地　4号棟	1983	37	100.0%	除却	除却
185	東町団地　H7号棟	1995	25	52.8%	長寿命化	長寿命化
186	職員住宅255	1975	45	100.0%	現状維持	除却
187	職員住宅263	1984	36	100.0%	現状維持	現状維持
188	職員住宅266	1985	35	100.0%	現状維持	現状維持
189	職員住宅271	1990	30	100.0%	現状維持	除却
190	若葉団地　1号棟	1985	35	100.0%	長寿命化	長寿命化
191	若葉団地　2号棟	1985	35	100.0%	長寿命化	長寿命化
192	若葉団地　3号棟	1985	35	100.0%	長寿命化	長寿命化
193	若葉団地　4号棟	1985	35	100.0%	長寿命化	長寿命化
194	若葉団地　5号棟	1986	34	100.0%	長寿命化	長寿命化
195	若葉団地　6号棟	1986	34	100.0%	長寿命化	長寿命化
196	若葉団地　7号棟	1986	34	100.0%	長寿命化	長寿命化
197	若葉団地　8号棟	1986	34	100.0%	長寿命化	長寿命化
198	若葉団地　9号棟	1987	33	100.0%	長寿命化	長寿命化
199	若葉団地　10号棟	1987	33	100.0%	長寿命化	長寿命化
200	若葉団地　11号棟	1987	33	100.0%	長寿命化	長寿命化
201	若葉団地　12号棟	1987	33	100.0%	長寿命化	長寿命化
202	若葉団地　13号棟	1988	32	100.0%	長寿命化	長寿命化
203	若葉団地　14号棟	1988	32	100.0%	長寿命化	長寿命化
204	若葉団地　H6号棟（特公賃）	1994	26	55.0%	長寿命化	長寿命化
205	若葉団地　H7号棟（特公賃）	1995	25	52.8%	長寿命化	長寿命化
206	光南団地　1号棟	1978	42	100.0%	更新	更新
207	光南団地　2号棟	1978	42	100.0%	更新	更新
208	光南団地　3号棟	1979	41	100.0%	更新	更新
209	光南団地　4号棟	1979	41	100.0%	更新	更新
210	光南団地　5号棟	1979	41	100.0%	更新	更新
211	光南団地　6号棟	1980	40	100.0%	更新	更新
212	光南団地　7号棟	1989	31	100.0%	更新	更新
213	光南団地　8号棟	1989	31	100.0%	更新	更新
214	光南団地　9号棟	1990	30	100.0%	更新	更新
215	光南団地　10号棟	1990	30	100.0%	更新	更新
216	光南団地　11号棟	1991	29	100.0%	更新	更新
217	光南団地　12号棟	1992	28	100.0%	更新	更新
218	光南団地　13号棟	1992	28	100.0%	更新	更新
219	光南団地　14号棟	1993	27	100.0%	更新	更新
220	光南団地　H5号棟	1993	27	57.2%	更新	更新
221	歌登中学校　教員住宅840	1999	21	92.0%	現状維持	現状維持
222	歌登小学校　教員住宅843	2001	19	82.8%	現状維持	現状維持
223	歌登小学校　教員住宅845	2002	18	78.2%	現状維持	現状維持
224	白樺団地	1991	29	75.6%	長寿命化	長寿命化
225	白樺団地　集会室	1991	29	75.6%	長寿命化	長寿命化
226	西町団地（特公賃）	1998	22	46.2%	長寿命化	長寿命化
227	職員住宅254	1973	47	100.0%	現状維持	除却
228	職員住宅272	1978	42	90.2%	現状維持	現状維持
229	職員住宅273	1981	39	100.0%	現状維持	現状維持
230	歌登小学校　教員住宅812	1979	41	100.0%	除却	－
231	歌登小学校　教員住宅816	1980	40	100.0%	除却	－
232	歌登小学校　教員住宅838-1	1998	22	96.6%	現状維持	現状維持
233	歌登中学校　教員住宅838-2	1998	22	96.6%	現状維持	現状維持
234	歌登小学校　教員住宅839	1999	21	92.0%	現状維持	現状維持
235	歌登小学校　教員住宅841	2000	20	87.4%	現状維持	現状維持
236	歌登小学校　教員住宅844	2001	19	82.8%	現状維持	現状維持

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
237	弥生団地　1号棟	1980	40	100.0%	除却	除却
238	弥生団地　2号棟	1983	37	100.0%	除却	除却
239	弥生団地　3号棟	1983	37	100.0%	除却	除却
240	桧垣団地　20号棟	1976	44	100.0%	除却	除却
241	桧垣団地　24号棟	1977	43	100.0%	除却	除却
242	桧垣団地　22号棟	1978	42	100.0%	除却	除却
243	桧垣団地　H14号棟	2002	18	37.4%	現状維持	現状維持
244	桧垣団地　H15号棟	2003	17	35.2%	現状維持	現状維持
245	桧垣団地　H16号棟	2004	16	33.0%	現状維持	現状維持
246	桧垣団地　H18号棟	2006	14	28.6%	現状維持	現状維持
247	桧垣団地　H20号棟	2008	12	24.2%	現状維持	現状維持
248	歌登中学校　教員住宅849	1979	41	100.0%	現状維持	現状維持
249	歌登小学校　教員住宅813	1980	40	100.0%	現状維持	現状維持
250	歌登小学校　教員住宅814	1980	40	100.0%	現状維持	現状維持
251	歌登中学校　教員住宅822	1985	35	100.0%	現状維持	現状維持
252	歌登中学校　教員住宅823	1985	35	100.0%	現状維持	現状維持
253	歌登中学校　教員住宅833	1993	27	100.0%	現状維持	現状維持
254	歌登中学校　教員住宅837	2000	20	87.4%	現状維持	現状維持
255	歌登中学校　教員住宅842	2000	20	87.4%	現状維持	現状維持
256	歌登中学校　教員住宅846	2002	18	78.2%	現状維持	現状維持
257	うたのぼりグリーンパークホテル従業員宿舎	1989	31	100.0%	現状維持	集約化
258	本幌別団地　1号棟	1978	42	100.0%	除却	除却
259	あけぼの団地　1号棟	1984	36	100.0%	除却	除却
260	あけぼの団地　2号棟	1984	36	100.0%	除却	除却
261	病院医師住宅　H8号棟	1996	24	100.0%	更新	更新
262	病院医師住宅　H9号棟	2016	4	12.6%	更新	更新
263	病院医師住宅　H19号棟	2007	13	55.2%	更新	更新
264	病院医師住宅　H24号棟	2012	8	32.2%	更新	更新
265	病院医療技術員住宅　H2-1号棟	1990	30	100.0%	更新	更新
266	病院医療技術員住宅　H2-2号棟	1990	30	100.0%	更新	更新
267	病院医療技術員住宅　H2-3号棟	1990	30	100.0%	更新	更新
268	病院医療技術員住宅　H24号棟	2012	8	32.2%	更新	更新
269	病院医療技術員住宅　H25号棟	2013	7	27.6%	更新	更新
270	病院看護師宿舎　H3-1号棟	1991	29	100.0%	更新	更新
271	病院看護師宿舎　H3-2号棟	1991	29	100.0%	更新	更新
272	病院看護師宿舎　R1号棟	2019	1	0.0%	更新	更新
273	診療所医師住宅　H6号棟	1994	26	100.0%	現状維持	現状維持
274	診療所医療技術員住宅　H7号棟	1995	25	52.8%	現状維持	現状維持
275	診療所看護師宿舎　H7号棟	1995	25	52.8%	現状維持	現状維持
276	診療所看護師等宿舎　H9号棟	1997	23	48.4%	現状維持	現状維持
277	診療所職員宿舎　H11号棟	1999	21	44.0%	現状維持	現状維持

◇関連個別施設計画

・枝幸町公営住宅等長寿命化計画

◇今後予定される事業

・過疎持続発展計画より

(10)環境衛生施設

ごみ処理関連や水道関連の施設など、いずれも住民の生活に必要なものであるため、長寿命化等の方針とし、維持管理費用の削減に努めていきます。

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
1	水産廃棄物等処理施設	1997	23	72.6%	現状維持	現状維持
2	公衆浴場はまなす	2002	18	78.2%	長寿命化	長寿命化
3	やすらぎ聖苑	2003	17	43.2%	長寿命化	長寿命化
4	枝幸リサイクルセンター	1999	21	66.0%	長寿命化	長寿命化
5	枝幸一般廃棄物埋立処分地施設 浸出水処理施設	2002	18	56.1%	長寿命化	長寿命化
6	枝幸一般廃棄物埋立処分地施設　車庫	2002	18	56.1%	長寿命化	長寿命化
7	枝幸南部地区簡易水道施設　浄水場	1998	22	56.7%	長寿命化	長寿命化
8	枝幸南部地区簡易水道施設 取水池発動発電機格納庫	1999	21	66.0%	長寿命化	長寿命化
9	歯科診療所	1994	26	67.5%	長寿命化	長寿命化
10	歌登リサイクルセンター	1997	23	72.6%	長寿命化	長寿命化
11	歌登リサイクルセンター 資源物保管格納庫	1999	21	66.0%	長寿命化	長寿命化
12	歌登一般廃棄物埋立処分地施設　計量等	1997	23	72.6%	更新	更新
13	歌登一般廃棄物埋立処分地施設　格納庫	1997	23	72.6%	長寿命化	長寿命化
14	歌登一般廃棄物埋立処分地施設 浸出水処理施設	1997	23	59.4%	長寿命化	長寿命化
15	有害鳥獣等減量化処理施設	2012	8	23.1%	長寿命化	長寿命化
16	歌登地区簡易水道施設　浄水場	1982	38	99.9%	長寿命化	長寿命化
17	本幌別地区簡易水道施設　浄水場	2012	8	23.1%	長寿命化	長寿命化
18	志美宇丹地区簡易水道施設　浄水場	1986	34	89.1%	長寿命化	長寿命化

◇関連個別施設計画

・枝幸町一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設長寿命化計画

・枝幸町一般廃棄物リサイクル・資源化施設長寿命化計画

◇今後予定される事業

・過疎持続発展計画より

（11）その他の施設

廃校舎等の用途廃止された施設については、民間への転用等も視野に入れ、活用が見込めない場合は維持管理費用削減のため解体・撤去も検討します。

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
1	カムイ岬公園トイレ	1991	29	100.0%	現状維持	現状維持
2	目梨泊漁港トイレ	2004	16	100.0%	長寿命化	長寿命化
3	北緯45度国際広場トイレ	1988	32	100.0%	除却	除却
4	旧問牧小学校	1977	43	100.0%	現状維持	現状維持
5	旧問牧小学校　教員住宅5	1986	34	100.0%	現状維持	現状維持
6	旧問牧小学校　教員住宅6・7	1988	32	100.0%	現状維持	現状維持
7	ウスタイベ千畳岩トイレ	1993	27	100.0%	現状維持	現状維持
8	枝幸除雪センター　車庫1	1966	54	100.0%	長寿命化	長寿命化
9	枝幸除雪センター　車庫2	1983	37	100.0%	長寿命化	長寿命化
10	枝幸除雪センター　車庫3	2007	13	39.6%	長寿命化	長寿命化
11	枝幸除雪センター　職員詰所	1969	51	100.0%	長寿命化	長寿命化
12	文書等保管施設	1980	40	78.0%	現状維持	現状維持
13	旧法務局	1961	59	100.0%	長寿命化	長寿命化
14	大型車両車庫	1974	46	100.0%	除却	－
15	三笠山パークゴルフ場　物品庫	1982	38	100.0%	長寿命化	長寿命化
16	三笠山パークゴルフ場　休憩室1	1989	31	100.0%	長寿命化	長寿命化
17	三笠山パークゴルフ場　休憩室2	1996	24	100.0%	長寿命化	長寿命化
18	枝幸バスターミナル	1986	34	89.1%	長寿命化	長寿命化
19	オホーツクグリーンパークトイレ	1990	30	100.0%	現状維持	現状維持
20	オホーツクグリーンパーク　バーベキューハウス	1993	27	100.0%	長寿命化	長寿命化
21	情報通信センター	2010	10	19.8%	長寿命化	長寿命化
22	旧第二歯科診療所	1979	41	100.0%	現状維持	現状維持
23	旧菅野院長住宅	1995	25	100.0%	現状維持	現状維持
24	北幸公園バーベキューハウス	1985	35	100.0%	長寿命化	長寿命化
25	北幸公園トイレ1	1989	31	100.0%	長寿命化	長寿命化
26	北幸公園トイレ2	1996	24	100.0%	長寿命化	長寿命化
27	北幸公園トイレ3	1998	22	100.0%	長寿命化	長寿命化
28	北幸公園パークゴルフ場センターハウス	1995	25	100.0%	現状維持	現状維持
29	観光資材倉庫	2011	9	26.4%	現状維持	現状維持
30	枝幸港緑地トイレ1	1992	28	100.0%	長寿命化	長寿命化
31	防災倉庫	2006	14	42.9%	現状維持	現状維持
32	鎮魂の森トイレ	1991	29	100.0%	現状維持	除却
33	枝幸港緑地トイレ2	1998	22	100.0%	除却	除却
34	枝幸港緑地トイレ3	2002	18	100.0%	長寿命化	長寿命化
35	枝幸墓園　トイレ	1996	24	100.0%	長寿命化	長寿命化
36	旧鉄建公団寮	1978	42	100.0%	現状維持	現状維持
37	はまなす交流広場トイレ	1999	21	100.0%	除却	除却
38	旧岡島小学校　教員住宅	1964	56	100.0%	除却	除却
39	旧徳志別小学校	1984	36	100.0%	現状維持	現状維持
40	旧徳志別小学校　教員住宅3	1979	41	100.0%	現状維持	除却
41	旧徳志別小学校　教員住宅4	1982	38	100.0%	現状維持	除却
42	旧徳志別小学校　教員住宅5･6	1988	32	100.0%	現状維持	除却
43	山臼漁港トイレ	1980	40	100.0%	現状維持	除却
44	山臼地区緑地広場トイレ	2002	18	100.0%	長寿命化	長寿命化
45	山臼地区緑地広場休憩所	2002	18	100.0%	長寿命化	長寿命化
46	乙忠部サブセンター	2010	10	30.6%	現状維持	現状維持
47	音標サブセンター	2010	10	30.6%	現状維持	現状維持
48	音標緑地公園トイレ	1994	26	100.0%	長寿命化	長寿命化
49	車庫1	1981	39	100.0%	長寿命化	長寿命化
50	車庫2	1972	48	100.0%	長寿命化	長寿命化
51	車庫3	1972	48	100.0%	長寿命化	長寿命化
52	車庫4	1972	48	100.0%	長寿命化	長寿命化
53	車庫5	1965	55	100.0%	長寿命化	長寿命化
54	歌登バスターミナル	1985	35	85.0%	長寿命化	長寿命化
55	歌登除雪センター	1978	42	100.0%	長寿命化	長寿命化

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
56	山村広場トイレ	1986	34	100.0%	長寿命化	長寿命化
57	ふれあいの里運動広場トイレ	1988	32	93.0%	長寿命化	長寿命化
58	ふれあいの里交流ハウス	1995	25	100.0%	長寿命化	長寿命化
59	ふれあいの里イベント広場トイレ	1992	28	100.0%	長寿命化	長寿命化
60	旧農産物加工研究施設	1977	43	100.0%	除却	除却
61	旧高齢者コミュニティセンター	1986	34	100.0%	転用	転用
62	歌登サブセンター1	2010	10	30.6%	現状維持	現状維持
63	歌登サブセンター2	2010	10	30.6%	現状維持	現状維持
64	西町バス待合所	1998	22	100.0%	長寿命化	長寿命化
65	旧公衆浴場うたのぼり湯	1985	35	74.8%	転用	転用
66	桧垣公園わんぱく広場トイレ	1993	27	70.2%	長寿命化	長寿命化
67	桧垣公園パークゴルフ場センターハウス	1995	25	48.0%	長寿命化	長寿命化
68	桧垣町バス待合所	2000	20	100.0%	長寿命化	長寿命化
69	旧定温倉庫	1972	48	100.0%	民間譲渡	民間譲渡
70	旧寒地園芸作物集荷施設	1981	39	100.0%	民間譲渡	民間譲渡
71	旧火葬場	1983	37	72.0%	除却	除却
72	旧塵芥焼却場	1992	28	72.9%	除却	除却
73	旧畜肉センター	1976	44	100.0%	民間譲渡	民間譲渡
74	森林公園作業員詰所	1983	37	100.0%	長寿命化	長寿命化
75	森林公園機械格納庫	1996	24	75.9%	長寿命化	長寿命化
76	うたのぼりグリーンパークホテル車庫併設従業員宿舎	1985	35	91.8%	現状維持	集約化
77	ふれあいの森キャンプ場管理棟	1986	34	100.0%	長寿命化	長寿命化
78	せせらぎ公園資材置場倉庫	1992	28	100.0%	民間譲渡	民間譲渡
79	せせらぎ公園トイレ	1988	32	93.0%	民間譲渡	民間譲渡
80	香りの丘トイレ	1991	29	100.0%	除却	除却
81	ふれあいの森森林館	1994	26	100.0%	長寿命化	長寿命化
82	ふれあいの森森と木の里研修舎	1995	25	100.0%	長寿命化	長寿命化
83	ふれあいの森森と木の里トイレ	1995	25	100.0%	長寿命化	長寿命化
84	ふれあいの森森と木の里炭小屋	1995	25	100.0%	長寿命化	長寿命化
85	旧歌登ふるさと館	1992	28	54.0%	現状維持	現状維持
86	旧毛登別会館	1975	45	100.0%	除却	除却
87	旧毛登別中学校 教員住宅	1977	43	100.0%	除却	除却
88	中央公園トイレ	1997	23	59.4%	長寿命化	長寿命化
89	旧幌別中央小学校	1989	31	66.0%	現状維持	現状維持
90	本幌別サブセンター	2010	10	30.6%	現状維持	現状維持
91	旧本幌別診療所	1985	35	100.0%	除却	除却
92	旧本幌別第3分団詰所	1985	35	100.0%	除却	除却
93	旧本幌別小中学校	1996	24	69.0%	現状維持	現状維持
94	旧本幌別小中学校　教員住宅17	1983	37	100.0%	除却	除却
95	旧本幌別小中学校　教員住宅13	1986	34	100.0%	除却	除却
96	旧本幌別小中学校　教員住宅16	1989	31	100.0%	除却	除却
97	旧本幌別小中学校　教員住宅18	1990	30	100.0%	除却	除却
98	旧本幌別小中学校　教員住宅19	1994	26	100.0%	除却	除却
99	志美宇丹サブセンター	2010	10	30.6%	現状維持	現状維持
100	旧志美宇丹小中学校	1989	31	66.0%	現状維持	現状維持
101	旧志美宇丹小中学校　教員住宅16	1979	41	100.0%	現状維持	除却
102	旧志美宇丹小中学校　教員住宅15	1980	40	100.0%	現状維持	除却
103	旧志美宇丹小中学校　教員住宅29	1997	23	100.0%	現状維持	除却
104	旧志美宇丹小中学校　教員住宅30	1998	22	96.6%	現状維持	除却
105	旧志美宇丹診療所	2001	19	75.6%	現状維持	現状維持
106	旧志美宇丹ヒュッテ	1989	31	100.0%	除却	除却
107	旧上徳志別小学校	1959	61	100.0%	現状維持	除却
108	旧上徳志別小学校　教員住宅1	1967	53	100.0%	現状維持	除却
109	旧上徳志別小学校　教員住宅2	1968	52	100.0%	現状維持	除却
110	旧上徳志別小学校　教員住宅3	1978	42	100.0%	現状維持	除却
111	枝幸消防署庁舎	2015	5	8.0%	現状維持	現状維持
112	枝幸消防署歌登分署	1996	24	46.0%	現状維持	現状維持
113	枝幸消防署副塔	2015	5	8.0%	現状維持	現状維持
114	枝幸消防団第1分団問牧班詰所	1983	37	100.0%	現状維持	機能移転
115	枝幸消防団第2分団詰所	1987	33	100.0%	現状維持	現状維持

No.	資産名称	取得年度	経過年数	R 2有形固定資産減価償却率	2026年度までの施設の方向性	2046年度までの施設の方向性
116	枝幸消防団第3分団徳志別詰所	2017	3	9.2%	現状維持	現状維持
117	枝幸消防団第3分団岡島班詰所	1981	39	100.0%	現状維持	現状維持
118	枝幸消防団第4分団詰所	1994	26	100.0%	現状維持	現状維持
119	枝幸消防団第5分団詰所	1985	35	100.0%	現状維持	現状維持
120	枝幸消防団第6分団詰所	1998	22	96.6%	現状維持	現状維持
121	枝幸消防団第7分団詰所	1980	40	100.0%	現状維持	現状維持
122	枝幸消防団歌登第2分団格納庫	2001	19	82.8%	現状維持	現状維持

◇今後予定される事業

・過疎持続発展計画より

2. インフラ系施設

(1)道路

①市町村道

市町村道については、点検、改修などを計画的に実施し、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持補修費のライフサイクルコスト縮減を目指します。（枝幸町舗装個別施設計画より）

道路区分	管理延長(km)	舗装延長(km)		舗装率(%)
		As 舗装	Co 舗装	
1 級市町村道	143.2	95.4	1.0	67.3
2 級市町村道	123.1	61.8	0.4	50.5
その他市町村道	496.2	124.5	0.9	25.3
計	762.5	281.7	2.3	37.2

※As 舗装には簡易舗装を含む

◇関連個別施設計画

・枝幸町舗装個別施設計画

◇今後予定される事業

・過疎持続発展計画より

②林道

当町が管理する林道橋は 15 橋あります。このうち 13 橋は架設から約 20 年以上を経過し、30 年を超えるものも 7 橋あり、今後、橋梁の補修・架替えに要する経費が増大する可能性もあることから、コスト縮減への取り組みが不可欠です。

林野庁や北海道では、「インフラ長寿命化計画（行動計画）」を策定し、管理する施設の維持管理・更新等に係る中期的な取組方針を示しています。これを踏まえ、当町においても林道橋梁の長寿命化と補修・架替えに係るトータルコストの縮減や財政負担の平準化を図るとともに、森林の整備・管理に係る車両通行の安全性を確保するため、「枝幸町林道橋梁長寿命化計画（個別施設計画）」を策定し、従来の事後保全的な補修・架替えだけでなく、定期点検等により橋梁の現状を把握し、必要に応じて予防的な補修並びに計画的な架替えを着実に進めています。（林道個別施設計画より）

No.	橋梁名	路線名	建設年度	供用年数	種別
1	樋口橋	上徳志別線	1993	27	PC 橋
2	日鋼橋	オフンタルマナイ線	2004	16	PC 橋
3	白樺橋	辺毛内岡島線	2003	17	PC 橋
4	三笠山橋	三笠山線	1996	24	鋼橋
5	先乙橋	先乙線	1986	34	PC 橋
6	滝の上橋	風烈布線	1988	32	鋼橋
7	そよ風橋	風烈布線	1987	33	鋼橋
8	風流橋	風烈布線	1989	31	鋼橋
9	美風橋	風烈布線	1990	30	鋼橋
10	風恋橋	風烈布線	1991	29	鋼橋
11	正風橋	風烈布線	1991	29	鋼橋
12	風雅橋	風烈布線	1993	27	鋼橋
13	１号橋	般毛内本線	1971	49	鋼橋
14	般毛橋	般毛内本線	1995	25	鋼橋
15	函館岩橋	般毛内本線	1965	55	鋼橋

◇関連個別施設計画

・林道個別施設計画

◇今後予定される事業

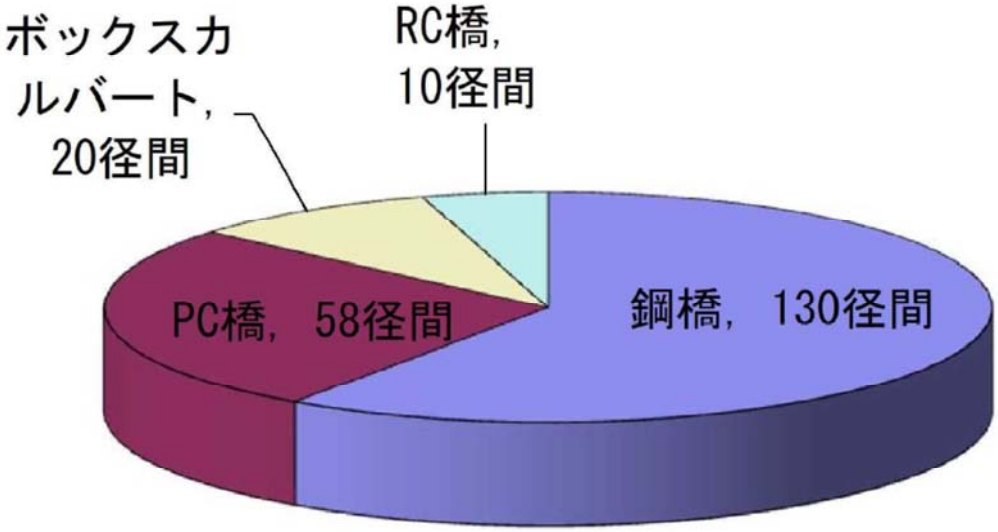
・過疎持続発展計画より

（２）橋梁

橋梁については、原則として橋梁長寿命化修繕計画に従って、維持補修費の縮減を図り、整備・更新を続けていきます。

当町の管理する橋梁は 180 橋であり、その内、河川橋が 175 橋となり大半を占めています。その他１橋は跨道橋で、残り４橋は廃線となった国鉄の跨線橋となります。

橋梁の橋種別では、鋼橋とＰＣ橋が多く全体の９ 割弱を占め、その他は、ボックスカルバート・ＲＣ橋となっています。（枝幸町橋梁長寿命化修繕計画より）



◇関連個別施設計画
・枝幸町橋梁長寿命化修繕計画
◇今後予定される事業
・過疎持続発展計画より

（３）公園

公園については、原則として枝幸町公園施設長寿命化計画に従って、遊具等の定期的な点検更新を行い、修繕や改築を適切に実施します。

遊具等の長寿命化を実施し、予防的保全に努めます。

◇関連個別施設計画
・枝幸町公園施設長寿命化計画
◇今後予定される事業
・過疎持続発展計画より

（４）上下水道

上下水道施設については、管渠などの設備の修繕及び長寿命化を検討し、効率的な設備投資や維持管理に努めます。

◇関連個別施設計画
・枝幸町漁業集落排水施設長寿命化計画
・ストックマネジメント改築計画
・漁集下水終末処理場機能保全計画
◇今後予定される事業
・過疎持続発展計画より

（５）港湾海岸保全施設

港湾海岸保全施設については、枝幸港湾海岸保全施設長寿命化計画に基づき、効率的・効果的な維持管理を推進するための点検計画や修繕計画を立案し、維持管理コスト縮減を図ります。

◇関連個別施設計画
・枝幸港湾海岸保全施設長寿命化計画
◇今後予定される事業
・過疎持続発展計画より